

ふくしま

(題字：福島中学校 校長 信田 博之さん)

第105号

平成27年6月1日発行

議会だより

発行：福島町議会

TEL 0139-47-2215



平成27年度当初予算を可決！ ◆定例会3月会議◆ 2
より良いまちづくりのため、慎重に審議！ ページ

ここが聞きたい！ 一般質問 8
～4名の議員より質問が提出された～ ページ

◆予算審査特別委員会◆
平成27年度一般会計予算 38億7,173万円 10
～16件の議案を可決～ ページ

英語で遊ぼう (5月15日：認定こども園福島保育所)

写真提供：福島フォトサークル

大型事業を予定

3 定例会 月会議

- ◆治山・林道事業などの林業費に 2,390万6千円
- ◆産業振興資金貸付金・水産業担い手支援・漁業振興施設整備事業費等の水産振興費に 9,250万6千円

商工費 ～ 1億6,188万1千円

- ◆観光協会補助金や地域おこし協力隊などの観光費に 1,877万3千円
- ◆横綱記念館の管理運営費に 1,623万円
- ◆青函トンネル記念館の管理運営費に 1,077万1千円
- ◆企業等の振興のための補助金に 1億円

土木費 ～ 1億3,281万3千円

- ◆除排雪業務などの道路維持補修費等に 4,675万3千円
- ◆町営住宅補修などの住宅管理費に 2,362万7千円

消防費 ～ 2億141万7千円

- ◆消防・救急のための渡島西部広域事務組合負担金として 1億9,758万5千円

教育費 ～ 4億2,658万7千円

- ◆児童生徒輸送費・就園・就学奨励援助・奨学資金貸付金・基礎学力向上支援などの教育振興費に 3,211万2千円
- ◆小学校の管理運営費に 3,081万5千円
- ◆中学校の管理運営費に 1,599万2千円
- ◆総合体育館の耐震化や運営費に 2億6,165万2千円

公債費 ～ 5億5,623万6千円

職員給与費 ～ 5億8,893万3千円

労働費・諸支出金・予備費 ～ 1億9,847万7千円

平成27年度当初予算を可決！ より良いまちづくりのため、慎重に審議！

定例会3月会議は3月9日に開催され、17日に終わりました。会議では、条例の制定・一部改正、計画の決定・変更、各会計の補正予算など町長提出の40案件を審議しました。一般質問では4名の議員が、町の対応や考え方をいただきました。なお、参画者は24名でした。

予算審査

特別委員会

平成27年度一般会計を含む6会計の予算と関連する10件の議案を、「予算審査特別委員会（3月10日設置）」（平野隆雄委員長ほか議長を除く全議員で構成）に付託し、11日から16日までの4日間審議しました。審査結果は16件の議案について、いずれも原案どおり可決すべきものとなりました。

「町政執行方針及び教育行政執行方針」で示した項目ごとに、主な質疑を10頁から13頁に記載しました。

また、平成26年度との当初予算比較は左表のとおりです。



全議員の賛成により平成27年度予算を可決

①吉岡総合センター整備

②総合体育館改修

2つの

定例会 3 月会議において、平成27年度福島町一般会計当初予算が可決され、各事業費が決定しました。

2つの大型事業のほか、各款ごとの主な事業費の内容は次のとおりです。

大型事業

①吉岡総合センター整備 3億4,274万1千円

【建設の目的】

- ・吉岡地区の集会所及び憩いの場として地域住民の交流の中心となる施設
- ・地域の防災拠点として安全な2次避難施設

②総合体育館改修 2億5,030万円

【改修の内容】

- ・耐震補強、外壁防水、大屋根葺替、アリーナ照明改修、身障者用トイレ設置、シャワー室改修 ほか

■平成27年度一般会計予算（総額） 38億7,173万8千円

議会費 ～ 5,038万5千円

◆議会議員の月額歳費 2,256万4千円

総務費 ～ 2億4,647万4千円

◆役場庁舎管理費や一般管理費に 7,042万4千円

◆町有財産の管理費に 2,103万6千円

◆電算処理のための費用に 3,158万円

◆住民基本台帳ネットワークシステム事業などの戸籍住民基本台帳費に 2,190万7千円

民生費 ～ 7億5,535万1千円

◆障害者介護給付や福祉灯油助成事業などの社会福祉総務費に 1億9,633万5千円

◆吉岡総合センター整備事業費に 3億4,274万1千円

◆後期高齢者の医療給付の負担費用に 6,671万4千円

衛生費 ～ 3億8,714万1千円

◆乳幼児健診・妊婦健診・脳ドック検診・各種がん検診
インフルエンザ予防接種等の予防費に 2,022万7千円

◆資源ゴミ・し尿処理のための渡島西部広域事務組合負担金として 1億3,830万4千円

農林水産費 ～ 1億6,604万3千円

◆農林業の担い手養成事業費等に 1,332万3千円

○各会計予算に関連し、審議した議案は次のとおりです。

- (1)福島町特定教育・保育施設及び特定地域保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について
- (2)福島町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
- (3)福島町学童保育条例の一部改正について
- (4)福島町介護保険条例の一部改正について
- (5)福島町過疎地域自立促進市町村計画の変更について
- (6)福島地域マリンビジョン計画の変更について
- (7)第6期福島町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の決定について
- (8)子ども・子育て支援事業計画の決定について
- (9)福島町財政調整基金の積立金の処分について
- (10)福島町介護保険給付費準備基金の積立金の処分について

全会計の予算状況

単位：千円

| 会計名 | 27年度(A) | 26年度(B) | 増減額(A)-(B) | 増減率 |
|--------|-----------|-----------|------------|--------|
| 一般会計 | 3,871,738 | 3,399,615 | 472,123 | 13.9% |
| 国民健康保険 | 1,024,680 | 934,214 | 90,466 | 9.7% |
| 介護保険 | 597,165 | 582,724 | 14,441 | 2.5% |
| 後期高齢者 | 61,676 | 63,654 | △ 1,978 | △ 3.1% |
| 浄化槽整備 | 48,434 | 44,795 | 3,639 | 8.1% |
| 水道事業 | 143,105 | 116,529 | 26,576 | 22.8% |
| 計 | 5,746,798 | 5,141,531 | 605,267 | 11.8% |

条例の制定

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

【制定の理由】

国が、地方教育行政の組織・運営に関する法律の一部改正を昨年6月20日に公布し、本年4月1日より施行されることとなったため改正法の趣旨に則り、関係条例の整理をしました。

【新たな地方教育行政制度の主な内容】

国の法律改正を受け、地方教育行政制度の主な内容は次のとおりです。

- ①教育委員長と教育長を一本化した新たな責任者、新「教育長」を設置。(任期3年)

※現在の教育長の任期中は、従来同様、教育委員長と教育長が併存します。

②新「教育長」へのチェック機能の強化。

③首長と教育委員会の連携強化や、迅速な危機管理体制を整える等のため、首長が招集する総合教育会議を設置。

④教育行政の大綱を総合教育会議で協議し、首長が策定。

補正予算

一般会計

○企業等振興支援事業費

△3,200万円

支出精査により減額しました。

○デジタル防災行政無線整備事業費

△2,570万円

入札減により減額しました。



全戸に配布された受信機

条例の一部改正

福島町企業誘致条例の一部改正

【改正の理由】

福島町過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例で規定する製造の事業、情報通信技術利用事業の関連施設を対象とするため、条例の一部を改正しました。

【改正の主な内容】

現在の福島町企業誘致条例第2条(定義)の対象業種として、過疎地域自立促進特別措置法第30条に規定する「情報通信技術利用事業」を追加しました。

過疎地域自立促進市町村特別措置法第30条とは

情報通信の技術を利用する商品又は役務に関する情報の提供に関する事業、その他の政令で定める事業。

過疎計画の変更

【変更の目的】

平成22年度9月策定の「福島町過疎地域自立促進市町村計画」について、

平成27年度予算において、新たに過疎債の充当を計画したことから、総合計画と過疎計画の整合性を図る必要が生じたため、変更するものです。

人権擁護委員の推薦

人権擁護委員に川合正子さん(64歳)を推薦することに同意しました。

○追加する事業

| 自立促進計画 | 事業名 | 事業内容 | 事業主体 |
|---------------------------|-----------------------------------|--|---------|
| 1 産業の振興 | (4) 地場産業の振興流通販売施設 | 漁業振興施設建設事業 ・販売・研修施設整備 | その他(漁組) |
| | (8) 観光又はレクリエーション | 町内観光看板整備事業 ・観光案内看板作製 | 福島町 |
| | | 鏡山公園整備事業 ・鏡山公園土留め整備 ・観客席の整備 | 福島町 |
| 2 交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進 | (1) 市町村道道路 | 町道平和橋1号線整備事業 ・旧吉岡幼稚園解体 ・本工事 L=105m | 福島町 |
| | (5) 電気通信施設等情報化のための施設 テレビ放送中継施設 | 福島・白符中継局アナログ放送設備撤去事業 ・アナログ放送設備撤去 ・白符中継局非常用電源整備 | 福島町 |
| 3 生活環境の整備 | (4) 消防施設 | 消火栓更新事業 ・消火栓更新 5基 | 広域事務組合 |
| | (7) その他 | 普通河川館の沢川護岸整備事業 ・護岸整備 カゴマット L=15m | 福島町 |

○変更する事業

| 自立促進計画 | 事業名 | 事業内容 | 事業主体 |
|---------|-----------------------|--|-------------|
| 1 産業の振興 | (1) 基盤整備農業 | 農業用機械整備事業 ・そば刈取用コンバイン購入 ・石挽き製粉機購入(変更) | その他(集落営農団体) |
| 6 教育の振興 | (3) 集会施設、体育施設等 その他 | 総合体育館改修工事 ・耐震補強、外壁防水、大屋根葺替、アリーナ照明改修ほか(変更) | 福島町 |

1月会議

1月会議は1月23日に開催され、町長提案の補正予算3件、人事案件1件の計4件を審議し、いずれも原案どおり可決、原案同意となりました。
 参画者は3名でした。

補正予算の内容

一般会計

○町営住宅整備事業費

40万円
 町営住宅の維持管理のために追加しました。



破損したゴミステーション（美山団地）

○職員給与費

33万円

定例会12月会議における給与条例の一部修正議決に伴う給与・手当・共済費を追加しました。

介護保険会計

○包括的支援事業費

6千円
 定例会12月会議における給与条例の一部修正議決に伴う給与・共済費を追加しました。

水道事業会計

○配水及び給水費

7万円

定例会12月会議における給与条例の一部修正議決に伴う給与・手当・共済費等を追加しました。

副町長の選任

福島町副町長に横内俊悦氏（60歳）を選任することに同意しました。
 任期は平成27年2月1日から平成31年1月31日までです。

2月会議

2月会議は2月20日に開催され、町長提案の計画変更2件、補正予算2件、人事案件1件、副町長の宣誓1件の計6件を審議し、いずれも原案どおり可決、原案同意となりました。
 参画者は6名でした。

総合計画の変更

【変更の理由】

総合計画の1年延長に伴い、事業費等の変更や、新規事業の追加等が生じたため、第4次福島町総合計画の前文、総論、基本構想及び後期実施計画を変更しました。

【計画年度の変更】

平成22年度～平成26年度を、平成22年度～平成27年度へ変更しました。

【総事業費等（件数及び財源）の変更内容】

（単位：件、千円）

| 区分 | 件数 | 総事業費 | 財源内訳 | | | |
|-----|-----|-----------|---------|-----------|---------|-----------|
| | | | 国・道支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 変更前 | 191 | 4,337,634 | 682,128 | 1,699,160 | 360,887 | 1,595,459 |
| 変更後 | 207 | 5,570,194 | 754,978 | 2,448,860 | 473,237 | 1,893,119 |
| 増減 | 16 | 1,232,560 | 72,850 | 749,700 | 112,350 | 297,660 |

行財政推進プランの変更

【変更の理由】

第5次福島町総合計画の策定を1年延長したことに伴い、第4次福島町総合計画の計画期間を変更し、計画期間を平成18年度から平成27年度までとし、新たに平成27年度の実施事業を追加したことにより、第4次福島町総合計画との整合性を図るため、福島町まちづくり行財政推進プランの計画期間を平成22年度から平成27年度に変更し、1年延長することとし、本文中の計画終期年度の変更と財政推計の見直しを行うため変更しました。

補正予算の内容

一般会計

○奨学資金貸付費

320万円
 町奨学資金一時金貸付見込みとして、専門学校生3名、高校生4名分を追加しました。

○繰出金

144万円
 介護保険システム改修に伴う介護保険特別会計繰出金を追加しました。

監査委員の選任

福島町監査委員として、本庄屋誠氏（61歳）を選任することに同意しました。
 任期は、平成27年4月1日から平成31年3月31日までです。

第4次福島町総合計画（改訂版）

【平成26年度2月改訂版】



北海道福島町

変更後の総合計画

福島町まちづくり行財政推進プラン

【平成26年度改訂版】

【計画期間：H22～H27】

福島町

変更後の行財政推進プラン

3月第2回会議

3月第2回会議は3月26日に開催され、町長提案の条例の一部改正1件、計画の変更1件、補正予算2件、議決更正1件の議案5件を審議し、4件を原案どおり可決、1件を否決としました。

参考者は3名でした。

条例の一部改正

ふるさと暮らし

応援条例

【変更内容】

出産祝金及び定住促進住宅等奨励金の受給資格者が転出などにより福島町に住所を有しなくなったときは、受給資格を取り消し、定住期間により奨励金の全額又は一部を返還することとしていましたが、受給資格者が研修や人事異動などにより一時的に町外に転出し、研修等の期間終了後、再転入し引き続き定住すること

が明らかなる場合に限り、資格取り消しの猶予期間を設けるものです。

なお、猶予期間は、奨励金の返還率が決められる期間に算入しません。

【受給資格取り消し 猶予の手続き】

3年以内に再転入し、引き続き福島町に定住する旨の誓約書を提出。

補正予算の内容

一般会計（平成26年度）

○福島町総合戦略策定事業費

190万円

福島町人口ビジョン及び福島町総合戦略の策定のための推進組織の運営及び策定支援委託業務のため、追加しました。

平成27年度 一般会計補正予算（第1号）を否決

吉岡総合センター整備事業 大幅な増額補正の説明が不十分！

補正予算の概要

定例会3月会議において吉岡総合センター関連予算の3億4,274万1千円を議決していましたが、地盤状況が悪いことなどにより4,230万円の大幅な増額補正が提案されたことから、慎重に審議し、採決の結果、賛成4人、反対4人の可否同数となり、議長裁決で否決となりました。

【質疑・意見交換の内容】

- 昨年10月17日の特別委員会で示された基本設計の数字と、現在の工事費が大幅に違うのはどうしてか。
- 想定外に地盤が悪い場所だという説明。町民に4,230万円の追加をお願いする形となる。このような場所に建てて、絶対に大丈夫なのか。
- 旧吉岡小学校の建設当時のデータもあったと思う。地盤の状態は想定できたのではないか。

○吉岡総合センター増額工事内訳

(単位：千円)

| | 増額内容 | 説明 | 補正額 |
|-----------------------|---------------|---|--------|
| 委託料 | 家屋調査 | 杭本数も増えたことから周辺家屋への影響を調査。 | 2,600 |
| 工 事 請 負 費 | 杭工事の増額 | 地質状態が悪いことから杭本数を32本から46本に変更。 | 6,500 |
| | 木（集成材）工事の増額 | 福島町産杉材を使用するにあたり、材料や断面の変更、輸送費の増による。 | 4,500 |
| | 支所事務室の下地等の変更 | 渡島総合振興局と建築確認申請の打ち合わせをした結果、事務所部分の下地を軽量鉄骨とし、仕上げを不燃材にするため。 | 1,000 |
| | キャットウォーク手すり設置 | 当初設置を予定していなかったが、安全性確保のため設置。 | 1,300 |
| | 防災無線設備の移設 | 現在の吉岡支所から移設することにより設置工事費を追加。 | 1,000 |
| | テレビ共聴設備の追加 | 建設予定地内に吉岡テレビ共聴組合の電柱等があり、電柱の移設とセンターへの引き込み経費が生じたため。 | 600 |
| | 労務費の上昇に伴う増額 | 予想される労務費の上昇分（約5%）を見込んだため。 | 14,500 |
| | 外構工事の増額 | 地盤状況が非常に悪く、地盤置き換え工事が必要となったため。 | 10,300 |
| | 小計 | | 39,700 |
| | 合計 | | 42,300 |

4月会議

4月会議は4月7日に開催され、町長提案の議案1件を審議し、原案どおり可決しました。
 参画者は5名でした。

補正予算の内容

3月第2回会議において吉岡総合センター整備事業費を含む一般会計補正予算が否決されましたが、補正内容の追加変更が提案され、総合センターについては、詳細な説明資料や図面が提出され、大幅増額の内容の説明がありました。

一般会計（平成27年度） ○文化財保護費

文化財調査委員等が館崎遺跡調査のため道立埋蔵文化財センターを視察する旅費を追加しました。

○特産品センター管理費

14万円
 特産品センターのトイレに温風乾燥機（手洗い用）を設置するため、追加しました。



設置された温風乾燥機

◎国の地域住民生活緊急支援のための交付金対策事業により、次の事業を平成26年度予算へ補正計上したため、減額しました。

①横綱の里づくり事業費

△ 236万円

②企業等振興支援事業費

△ 3,000万円

③教育関係団体・

大会参加助成費
 △ 90万円

吉岡総合センター整備事業費の推移

(単位：千円)

| 開催日 工事名 | 旧吉岡小跡地 調査特委 (10/17) | 旧吉岡小跡地 調査特委 (10/31) 基本設計 | 4月会議 (4/7) 実施設計 |
|------------|---------------------------|-----------------------------------|------------------------|
| 建築主体工事 | 217,566 | 226,800 | 252,900 |
| 電気設備工事 | 46,548 | 41,800 | 45,100 |
| 機械設備工事 | 43,416 | 44,500 | 44,400 |
| 外構工事 | 18,300 | 22,700 | 33,000 |
| 合計 | 325,830 | 335,800 | 375,400 |
| 増減要因 | 基本設計の概略段階 | ①外壁を充填、外張断熱工法へ変更 ②浄化槽へ杭追加など | 前頁「吉岡総合センター増額工事内訳」のとおり |

※旧吉岡小跡地調査特委→旧吉岡小学校周辺公共施設跡地利用計画に関する調査特別委員会

吉岡総合センター整備事業～4,220万円

3月第2回会議において、説明が不十分として否決されたことから、更に詳細の説明資料が提示されました。

なお、事業費は3月第2回会議時の資料と比較すると「労務費の上昇に伴う増額」が10万円減額され14,400千円となっています。(3月第2回会議：14,500千円)

特別委員会（昨年）からの事業費の推移は右表のとおりです。



吉岡総合センター 外観イメージ

4月第2回会議

4月第2回会議は4月23日に開催され、町長提案の議案6件、報告事項1件、人事案件1件を審議し、原案どおり可決、同意しました。
 参画者は5名でした。

条例の一部改正

国民健康保険税

条例の一部改正

【変更内容】

①税限度額の改正

基礎課税に係る課税限度額及び後期高齢者支援金等課税に係る課税限度額、介護納付金課税額を下記のとおり引き上げました。

②低所得者に係る

軽減の拡充

低所得者の国保税軽減措置の対象を拡大するため、5割及び2割軽減の対象となる世帯の判定所得を引き上げました。

課税限度額の改正表 (単位：万円)

| 区分 | 改正前 | 改正後 | 増減 |
|------------|-----|-----|----|
| 基礎課税分(医療) | 51 | 52 | 1 |
| 後期高齢者支援金等分 | 16 | 17 | 1 |
| 介護納付金課税分 | 14 | 16 | 2 |
| 合計 | 81 | 85 | 4 |

固定資産評価審査委員会委員の選任

固定資産評価審査委員に岡観要氏(67歳)を選任することに同意しました。

任期は、平成27年5月1日から平成30年4月30日までです。

一般質問

このたびの一般質問は、4名の議員から5項目の質問がありました。
1回目の質問・答弁の要点を掲載しました。
なお、3月9日に夜間議会を開催し、参画者は15名でした。

Q質問 合併60周年記念事業・記念行事は

A答え 吉岡総合センターの完成に併せて 記念式典を実施する



熊野 茂夫 議員

熊野茂夫議員

1955年に旧福島町と吉岡村が一つになり、現在の福島町として町政が施行されてから60周年の節目を迎えました。
今現在、この町に住む町民一人ひとりがこの町の60

(佐藤町長)

今日の福島町があるのは、先人の築き上げた歴史があればこそ、と認識しております。

合併60周年に関して、執行方針と当初予算において、記念行事が決定していません。また、吉岡総合センターの完成記念と併せて合併60周年記念式典を実施すると考え、触れていませんでした。

今後は、移動町長室等の広報・広聴の場において、町民のまちづくり参加への意識の高揚を図ります。
記念事業・記念行事は、昨年の7月にNHK函館放

年の歩みを振り返り、今後の発展のために考える良い機会であると同時に、町民のまちづくり参加への意識醸成を図る良い機会でもあると思います。

町長は執行方針及び当初予算の中でも一言もこれに触れていないと思います。
広報新年号の中では、「60年の節目を迎える」と述べているが、どのように認識しているのか。加えて、記念事業・記念行事の計画はあるのか伺います。

送局から平成27年度に市町制施行記念などの市町を対象に「全国放送公開番組」実施希望の照会があり、「上方演芸会」という公開ラジオ番組を記念事業として実施できないか要請しているところです。

NHK函館放送局からは、最終的な全国の取りまとめもそろそろ決定するとのこととありますので、公開ラジオ番組の実施に向けてNHK函館放送局と調整を行ってまいります。

なお、日程や経費等の詳しい内容が決まりましたら、報告いたします。

Q質問 縄文文化によるまち興しの 新視点(第3の記念館構想)は

A答え 館崎遺跡は後世への重要な財産 貴重な提案と受け止める



川村 明雄 議員

※川村議員は他に「ウインタースポーツ(スキー教育)の再普及について」の質問をしています。

川村明雄議員

わが町の過去の歴史とこれからの歴史を鑑みると、まち興しの視点は、次の構想を具現化するところに置くべきと夢を流転させます。
①館崎遺跡の復元土器等の利活用によるまち興しの視点は。又、縄文遺跡への想いは。本事業の関係者による町民への報告講演会開催を。
②「道の駅」構想時の機能視点は。地方創生対策への連動は。

(佐藤町長・盛川教育長)

①町内外に館崎遺跡の価値を発信することが必要だと考えます。また、当時の生活の様子を紐解く貴重な財産であり、また、後世に伝えるべき重要な財産であると考えます。
②今後の新幹線効果の検証により方向付けを検討することになっていることから、構想の具体的な内容検討に至っていません。現段階では地方創生と絡めた検討をしています。

③郷土資料館を構想した時の機能視点は。
④道と関係県が「北海道・北東北の縄文遺跡群の世界文化遺産登録」を目指していることへの考えは。学芸員の配置や近隣町との連携体制の可否は。
⑤わが町の未来考察をした時、以上を総合した第三の記念館構想も考えられます。起業や経済興隆を前提とし是非とも調査研究費の検討を。

③現時点では旧白符小学校(チロップ館)を想定しており、今後想定される出土品の一部保管・展示、そして現在施設活用している団体の企画などを合わせた施設利用を考えています。
④北海道教育委員会では「遺跡の保存状態から世界文化遺産の候補資産にならない」との回答です。活用体制としては学芸員の配置がベストと思いますが、管内には福島町の遺跡発掘調査に携わった方もいますので、お知恵を拝借するなど協力体制を築きながら進めることも一つの方法だと考えています。
⑤第三の記念館構想の調査研究費の検討の提案については、貴重な提案と受け止めていただきます。

ここが聞きたい！



滝川 明子 議員

Q質問 「認定こども園」保育料の 抜本的な見直しを

A答え 国の基準を基本とし設定している

滝川明子議員

平成27年4月から子ども・子育て新制度の実施に向け、福島町子ども・子育て会議において新制度に対応する計画と関係条例の制定等を審議されましたが、保育料についての審議はどうだったのでしょうか。

実際に、渡島・檜山管内においても2人目半額、3人目無料、あるいは全面的に無料化を実施する例もあります。新年度小学校入学

(佐藤町長)

福島町子ども・子育て会議では、子どもの健やかな成長と保護者の子育てを社会全体で支援する環境を整備することを目的として、子ども・子育て支援事業計画等の策定の審議をしていただきました。

児童数は吉岡小学校5名、

福島小学校13名で、少子化傾向は年々深刻さを増しています。

子どもは町の未来につながる、町の宝とも言うべきものと考えます。

町はこれまでも出産祝い金や子ども医療費助成を高校生まで拡大するなど支援策を実施しておりますが、認定こども園の保育料を抜本的に見直しませんか。

その中で、認定こども園

福島保育所の保育料については、国の基準額を基本とするので確認されています。

なお、当町においても同一世帯から2人以上の児童が、入所している場合の保育料は、年齢の高い順に全額・半額・無料となっています。

また、当町の保育料は、国が定める所得階層区分に基づき、入所児童世帯の応能負担を原則として保育料基準額を設定しています。

Q質問 福島町の目指すべき将来性と 人口ビジョン・総合戦略は

A答え 人口減少を食い止めるには 雇用の場の確保が重要課題



平沼 昌平 議員

平沼昌平議員

「まち・ひと・しごと創生法案」によれば、地方創生の目標は「潤いのある豊かな生活を営むことができる地域社会の形成」、「地域社会を担う個性豊かで多様な

(佐藤町長)

市町村は、国、道の総合戦略を勘案し平成27年度中に「地方版総合戦略」の策定を求められています。

策定にあたっては、「地方版人口ビジョン」を策定し、人口の変化が地域の将来に与える影響を分析・考察し、現状と課題を整理したうえで、人口に関して目指すべき将来の方向を示したうえで策定することが必要であるとの基本方針が示されています。

当町の「長期ビジョン」及び「総合戦略」の策定にあたっては、現在講じている様々な対策を継続するこ

人材の確保」、「地域社会における魅力ある多様な就業機会の創出」となっている。この3点の目標の論理的関係は何か重く感じるが、突き詰めると「地域の生活環境の確保」と「地域経済の維持」に整理されると考える。

国において、具体的な指標は十分に示されていないが、福島町として、生活環境、そして経済の活動を適切に維持していくためにも、当町の将来を見据えた人口ビジョン・総合戦略にどのように取り組んでいくのか。

とはもとより、産官学金労で構成する推進組織を設置し地域全体で取り組み、議会での意見交換、審議などを経ながら、当町にとって、より良い「地域の生活環境の確保」をどうすべきか、また、「地域経済の維持」に欠くことのできない人口の減少を食い止めるために、雇用の場の確保を重要課題に掲げて取り組んでいきます。

併せて、国が勧めている企業の地方進出に期待するとともに、国の機関の地方分散についても機会あるごとに訴えていきます。

16件の
議案を
可決

平成27年度
一般会計予算

38億7,173万円

振興と人材育成

○水産業の振興

問 ナマコ稚仔放流事業費は今後どのような方向性なのか。また、人材育成も含めた事業展開だったと思うがどうなっているか。

答 引き続き生残率の向上を目指していく。人工採苗は栽培水産試験場等に出張し、技術的な指導を受けている。



放流箇所であがったナマコを計測

問 ナマコは水揚げ目標を2千万円以上と話されていた記憶があるが、現状はどうなっているか。

答 実際に平成22年度に放流した漁獲の追跡調査から、

漁獲率で6・5パーセントしか獲れていないため、目標値には遠い数値となっている。

問 ウニ移植放流事業費でウニを深場から浅場へ移植しているが、年度によってトン数が変わっている。しかし、補助金額(250万円)が変わっていないのはなぜか。

答 ウニの移植は、従前、キタムラサキウニを吉岡地区と福島地区にそれぞれ30トンの移植してきた。今年度は漁組よりそれぞれ26トンずつの移植計画でしたが、定額補助として同額を予算計上している。



ウニ移植放流の様子

問 執行方針の中で、漁組の経営を圧迫している要因の一つとして、ウニ種育苗センター、アワビ中間育成施設の運営があることが書かれていた。具体的にどういうことか。

答 ウニ種育苗センターの管理費に500万600万円掛かっている。その経費をエゾバフンウニの水揚げ手数料で賄いきれなくなっており、漁組の別の会計から運営費を賄っている状況にある。そのため漁組では、どちらかの施設に統合し掛かる経費を圧縮したいと考えている。

問 どちらかに統合するということだが、それではトラウトサーモンの養殖はどうなるのか。

答 トラウトサーモンは海水とトンネル湧水を合わせた水で試験することも可能と思う。来年度以降、試験調査していく。

○農林業の振興

問 農業振興費の中で、「農業基盤の基盤強化(3団体)」となっているが、具体的にどの団体か。また、助成している200万円の内容は。

答 福島ファーム、黒米生産会、トウモロコシ生産会の3団体である。主に資材等に係る助成となっている。

問 黒米生産会やトウモロコシ生産会の状況を教えてください。

答 黒米生産会の平成26年度の販売額は316万8千円ほどとなっている。



様々なイベントで黒米をPR

トウモロコシ生産会は、平成26年度に苗は8,600本購入し、聞き取りである7,500本を収穫。販売したのは4,900本となっている。

問 今後、農協にどのような方向で行政が対応していかなければならないのか。町長の考えは。

答 なかなか経営的に厳しいということで、町としても技術面で支援はしている。今後は、黒米や横綱しいたけのPRに力を入れ、支援していきたい。また、経営的に安定するよう支援していきたい。



消費者にも人気の横綱しいたけ

予算審査特別委員会

活力ある産業

問 林業振興費の中で「福島町地域材活用住宅助成事業の検討」とあるが、これまで協議した経過はあるか。

答 平成27年度の制度化を目指しており、現在事務作業を進めている。また、林業振興団体の方と話し合いはしていない。

問 地域材を活用した政策をやりたいと言ったのは町長だと思うが、町長自身の意気込みがなければ前に進まないのではないか。

答 地域材の活用は、進めていく予定である。北海道からの職員もまだいるので、しっかりと体制づくりをする形で進めていく。



間伐材を使用した朝市直売所

○商工業の振興

問 地場産業開発研究事業費において、特産品のPRと新開発とあるが、予算を少しでも上乗せしたら、新商品の開発が出来るのか。

答 予算の上乗せをしても、実態は町産研究費に充てて活用するところが少なくなってきたしており、販路拡大事業に力を入れている状況である。

問 様々なイベントに同じ人だけが参加しても、いつまで経っても新しい人は育ていかない。思いきって、役場の若い人たちを、課を超えてやらせてみてはどうか。

答 担当は水産商工課が中心になるが、課を超えてということも検討させていただきたい。

○観光の振興

問 横綱記念館やトンネル記念館に思い入れを感じる予算内容となっていないような気がする。観光客はそんなに甘いものではない。町としてどう考えているか。

答 九重部屋と九重親方は大事にしていかなければならないと思っており、福島町の宝ではないかと思っている。両記念館も福島町の観光施設として重要な位置付けにある。



(左) トンネル記念館、(右) 横綱記念館

問 新幹線開業が近づいているが、未だに「開業まで」という情報もない。トンネル記念館に来てこそ、新幹線の事を知れるというようにしなければ素通りされてしまう。現在のトンネル記念館で新幹線の情報を得ることができるか。

答 現在は新幹線の展示物はない。展示物はこれから考えなければならぬ。トンネルを造ることとなった経緯から重点的にPRしていきたい。

問 当町が持っている観光資源に対する基本的な考えを伺いたい。

答 福島町の生活、住んでいる人、そのこともPRすべきと考えている。最後はその土地の人だったり、食べ物というのが大事だと思っている。そういったキーワードを念頭に観光について考えていきたい。

○後継者育成と定住促進

問 地域おこし協力隊のことで、町のPRをすると書いているが、イベントへ参加してのPRが中心になっているのか。

答 イベントでPRするのが一番効果的だと思っている。平成26年度はイベントに「するめ〜」が参加する際は、地域おこし協力隊も行って色々PRし、情報発信している。



地域おこし協力隊と「するめ〜」で福島町をPR

新年度予算の疑問点や町長の考えを確認

健康・福祉の充実

○健康関係

問 ドクターヘリに関係した予算が314万5千円が計上されている。まだ始まったばかりであるが稼働率や町内の実績はどうなっているか。

答 ドクターヘリは2月16日から実施し、森町で1件、松前町で1件あったと聞いている。福島町ではまだ要請はない。
(3月11日現在)



運行が開始されたドクターヘリ

○健康関係

問 ふれあいスポーツ大会の周知の仕方だが、町内で転居したことでどこからも案内が届かず、知らないまま終わってしまったという話があった。そのことを受けて、周知方法の改善があってもよいと思うがどうか。

答 平成27年度については、広報とチラシと町内会長さん、それから老人クラブという形で周知したい。



昨年開催された高齢者ふれあいスポーツ大会 (H26.10.9)

○高齢者等の交通確保

問 町が管理しているバス待合所以外のバス停において、バス停の前だけでも雪を置いていかないで除雪してほしいという具体的な要望も出されていたが、何か対応などはないのか。

答 従来からバス待合所が無いバス停であっても、町内会の中でご協力していただき、バス停の前だけスペースを確保してもらっている現状にある。



町で管理していないバス停前の除雪が課題 (左) 日向バス停、(右) 慕舞バス停



快適な生活環境の整備

○環境・ゴミ関係

問 春と秋に町内会でゴミ拾いを行っているが、千軒地区は本場に不法投棄がすぐく多い。特に澄川地区が多い。不法投棄がなくなるような対応をしてほしい。

答 内部で再度方向性を決めていきたい。



山林などにも多く見られる不法投棄

問 墓地公園の区画を買い求めて、その後、建立されていない区画はあるのか。ある場合の対策はどう考えているのか。

答 購入してから3年以内に建立されていない場所が、現在10区画ある。対応としては、年1回以上文書なりで状況を報告してもらっている。まずは建立していただく方向で話を続けたい。

問 火葬場費に関係し、火葬業務を民間に委託し2名の作業員が来て行うということが、以前の会議では民間から1名、職員から1名と理解していたが違うのか。

答 火葬業務は、委託業者から2名、町職員1名の3人体制で行うことで作業を進めている。

一般会計 ～ 前年比4億7,212万円増

学校教育等・社会教育の推進

○学校の安全対策等

問 以前、各学校の校歌をCD化していただくよう意見交換し、教育長からは前向きに検討しているような回答をもらった記憶があるが、その後の進捗状況はどうなっているのか。

答 日の出小学校以外の校歌は音源がある。その音源を音符化する作業は所有者と色々調整が必要となる。まだ、十分な検討をしていないので、今年度、予算要求はしていない。

○健やかな心と 身体育成

問 いじめの問題は絶対にゆるさないということが執行方針に書いているが具体的な施策は。以前やっていた標語の看板はどうか。

答 校長会や教頭会、PTAの集まりなどで周知していく。標語の看板については、当初予算に要求してい

ないが、看板の事は別としても、標語の募集、あるいはそれを広報に載せるなどは可能と思うので、学校とも相談したい。

○社会体育活動

問 総合体育館が耐震化のため改修することになるが、総合体育館を使っている利用団体に説明等はされたのか。

答 利用団体者会議を開催し、内容を周知している。改修工事期間の対応としては、小中学校、それと福祉センターへ代替利用という形で調整していきたい。



耐震化工事を行う体育館

平成27年度 議会費の使い道

前年比 **253万4千円 (5.3%)** 増額

主な増減

- 議員歳費の増 (28万円)
- 議員共済等負担金の増 (230万3千円)
- 事務用ファクシミリ機購入による増 (30万6千円)

議員歳費(月額)の比較

単位：千円

| 項目 | 福島町 | 渡島 | 北海道 | 全国 |
|-----|------|-----|-----|-----|
| 議長 | 8月まで | 232 | 264 | 260 |
| | 9月以降 | 259 | 260 | 286 |
| 副議長 | 8月まで | 185 | 207 | 208 |
| | 9月以降 | 207 | 208 | 232 |
| 委員長 | 8月まで | 168 | 188 | 189 |
| | 9月以降 | 187 | 189 | 215 |
| 議員 | 8月まで | 156 | 177 | 175 |
| | 9月以降 | 174 | 175 | 210 |

※上記の歳費(報酬)金額は1人当たりの金額
渡島・北海道・全国の平均は26年7月1日現在

単位：千円

| 項目 | 27年度 | 26年度 | 増減 | (%) | 概要 |
|-------------|--------|--------|-------|-------|--|
| 報酬 | 22,609 | 22,329 | 280 | 1.3 | 議員歳費22,564、諮問会議委員報酬45 |
| 手当等 | 7,992 | 7,902 | 90 | 1.1 | 議員期末手当 |
| 共済費 | 14,169 | 11,866 | 2,303 | 19.4 | 議員共済等負担金13,619 社会保険料等550 |
| 賃金 | 1,919 | 1,902 | 17 | 0.9 | 臨時職員賃金(会議録作成) |
| 報償費 | 100 | 100 | 0 | 0.0 | 専門的審査・調査謝礼 |
| 旅費 | 1,167 | 1,327 | △160 | △12.1 | 普通旅費609、視察研修旅費285 職員旅費138、同行旅費27 委員費用弁償12、委員旅費96 |
| 交際費 | 150 | 150 | 0 | 0.0 | 議会としての慶弔費など |
| 需用費 | 922 | 932 | △10 | △1.1 | 議会だより印刷製本費595 消耗品等327 |
| 使用料及び賃借料 | 157 | 151 | 6 | 4.0 | 議会ホームページ単独運用(使用料)40、 インターネット中継回線利用料等117 |
| 備品購入費 | 306 | - | 306 | 100.0 | 事務用ファクシミリ機306 |
| 負担金及び補助金 | 885 | 1,192 | △307 | △25.8 | 管内議長会等371、四町議員協議会88 議員公務災害補償組合76、 政務活動費350 |
| 償還金・利子及び割引料 | 9 | - | 9 | 100.0 | 議会中継システム更新に係る備荒資金 組合への償還金9 |
| 合計 | 50,385 | 47,851 | 2,534 | 5.3 | |

審議した議案と各議員の



・賛成が○、反対は×と表示しています。
 ・溝部幸基議長は採決には加わりません。

| 会議名 | 議案番号 | 議案名 | 議員名 | | | | | | | | | | | 審査結果 | 議決日 | | |
|------|--|--|------------|------|------|------|-----|-----|------|------|------|------|---|------|------|-------|-------|
| | | | 平沼昌平 | 加藤雅行 | 佐藤孝男 | 滝川明子 | 花田勇 | 木村隆 | 藤山 大 | 川村明雄 | 熊野茂夫 | 平野隆雄 | | | | | |
| 1月会議 | 36 | 平成26年度福島町一般会計補正予算（第10号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | 1月23日 |
| | 37 | 平成26年度福島町介護保険特別会計補正予算（第3号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | |
| | 38 | 平成26年度福島町水道事業会計補正予算（第4号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | |
| | 同意2 | 副町長の選任について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案同意 | |
| 2月会議 | 39 | 第4次福島町総合計画の変更について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | 2月20日 |
| | 40 | 福島町まちづくり行財政推進プランの変更について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | |
| | 41 | 平成26年度福島町一般会計補正予算（第11号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | |
| | 42 | 平成26年度福島町介護保険特別会計補正予算（第4号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | |
| | 同意3 | 監査委員の選任について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案同意 | |
| | 宣誓1 | 副町長の宣誓について | ※採決はありません。 | | | | | | | | | | | 宣誓済 | | | |
| 3月会議 | 43 | 教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | 3月9日 |
| | 44 | 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | |
| | 47 | 福島町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | |
| | 48 | 福島町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | |
| | 49 | 福島町地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | |
| | 50 | 福島町課設置条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | |
| | 51 | 福島町行政手続条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | |
| | 52 | 福島町防災行政無線施設設置及び管理等に関する条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | |
| | 53 | 福島町社会教育委員の定数及び任期に関する条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | |
| | 56 | 福島町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | |
| | 57 | 福島町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | |
| | 58 | 福島町企業誘致条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | |
| 60 | 福島町地域防災計画の変更について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | 3月10日 | |
| 62 | 福島町森林整備計画の決定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | | |
| 63 | 福島町第2期地域福祉計画の決定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | | |
| 66 | 路線の認定変更について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | | |
| 75 | 平成26年度福島町一般会計補正予算（第12号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | | |
| 76 | 平成26年度福島町国民健康保険特別会計補正予算（第3号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | | |
| 77 | 平成26年度福島町介護保険特別会計補正予算（第5号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | | |
| 78 | 平成26年度福島町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | | |
| 79 | 平成26年度福島町浄化槽整備特別会計補正予算（第1号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | | |
| 80 | 平成26年度福島町水道事業会計補正予算（第5号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | | |
| 45 | 福島町特定教育・保育施設及び特定地域保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | 3月17日 | |
| 46 | 福島町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | | |
| 54 | 福島町学童保育条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | | |
| 55 | 福島町介護保険条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | | |
| 59 | 福島町過疎地域自立促進市町村計画の変更について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | | |
| 61 | 福島地域マリンビジョン計画の変更について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | | |
| 64 | 第6期福島町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の決定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | | |

| 会議名 | 議案番号 | 議案名 | 議員名 | | | | | | | | | | 審査結果 | 議決日 | | |
|---------|--------------------------|-----------------------------------|------------|------|------|------|-----|-----|------|------|------|------|------|-----------------------------------|-------|-------|
| | | | 平沼昌平 | 加藤雅行 | 佐藤孝男 | 滝川明子 | 花田勇 | 木村隆 | 藤山 大 | 川村明雄 | 熊野茂夫 | 平野隆雄 | | | | |
| 3月会議 | 65 | 子ども・子育て支援事業計画の決定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | 3月17日 |
| | 67 | 平成27年度福島町一般会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | |
| | 68 | 平成27年度福島町国民健康保険特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | |
| | 69 | 平成27年度福島町介護保険特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | |
| | 70 | 平成27年度福島町後期高齢者医療特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | |
| | 71 | 平成27年度福島町浄化槽整備特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | |
| | 72 | 平成27年度福島町水道事業会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | |
| | 73 | 福島町財政調整基金の積立金の処分について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | |
| | 74 | 福島町介護保険給付費準備基金の積立金の処分について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | |
| | 81 | 福島町デジタル防災行政無線同報系整備工事請負契約の議決更正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | |
| 諮問2 | 人権擁護委員の推薦について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案同意 | | |
| 3月第2回会議 | 82 | 福島町ふるさと暮らし応援条例の一部改正について | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | 3月26日 | |
| | 83 | 第4次福島町総合計画の変更について | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | | |
| | 84 | 平成26年度福島町一般会計補正予算（第13号） | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | | |
| | 85 | 平成27年度福島町一般会計補正予算（第1号） | 欠 | ○ | × | ○ | × | 欠 | ○ | ○ | × | × | × | 原案否決 ※可否同数のため、議長裁決により否決となりました。 | | |
| 86 | 旧吉岡小学校外解体工事請負契約の議決更正について | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | | | |
| 4月会議 | 1 | 平成27年度福島町一般会計補正予算（第2号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | 4月7日 | |
| 4月第2回会議 | 報告1 | 専決処分した事件の報告について | ※採決はありません。 | | | | | | | | | | 報告済 | 4月23日 | | |
| | 2 | 町税条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | 原案可決 |
| | 3 | 福島町国民健康保険条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | 原案可決 |
| | 4 | 福島町介護保険条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | 原案可決 |
| | 5 | 福島町農林水産業担い手支援条例の一部改正について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | 原案可決 |
| | 6 | 平成27年度福島町一般会計補正予算（第3号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | 原案可決 |
| | 7 | 平成27年度福島町介護保険特別会計補正予算（第1号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | 原案可決 |
| | 同意1 | 固定資産評価審査委員会委員の選任について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | 原案同意 |

議会だより104号の記事の訂正について

| 訂正前（誤） | 訂正後（正） |
|---|--|
| <p>【2頁下から6行目】</p> <p>⑤については、平成26年12月16日現在で延べ9人に合計3万6千円を支給しています。</p> | <p>【2頁下から6行目】</p> <p>⑤については、<u>今年4月から直近までの勤務実績に当てはめると4回で延べ9人の勤務で手当にすると3万6千円になります。</u></p> |
| <p>【4頁下の花田俊勝奨学金の説明】</p> <p>専修学校の専門課程（就業年限3年以上）に在学する福島町住民の子どもに対する奨学資金制度です。</p> | <p>【4頁下の花田俊勝奨学金の説明】</p> <p><u>学校教育法に規定する大学（大学院を除く）、短期大学（就業年限2年を除く）、専修学校の専門課程（就業年限3年以上）に在学する福島町住民の子どもに対する奨学資金制度です。</u></p> |
| <p>【15頁の学校給食センター運営協議会の論点と意見】</p> <p>同会は平成22年度に町からの学校給食に関する補助金の使途及び運営を適正に管理することを目的に設置され、現在に至っています。</p> | <p>【15頁の学校給食センター運営協議会の論点と意見】</p> <p><u>福島町学校給食会の内容が示されているが、同会は平成22年度に町からの学校給食に関する補助金の使途及び運営を適正に管理することを目的に設置され、現在に至っています。</u></p> |

【調査概要】 H27. 2. 19調査

第5期福島町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画が平成26年度で最終年度となることから、平成27年度からスタートする第6期の福島町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定が必要です。

当該計画で、介護保険料の算定や、団塊の世代が後期高齢者となる平成37年度を見据えた地域包括ケアシステムの構築や費用負担の公平化、北海道財政安定化基金借入金の返済方法、そして関係する条例等の制定、一部改正などの資料が示されたことから、それぞれの内容等を調査しました。調査の主な内容は次のとおりです。

【調査の論点と意見】

1. 介護保険制度改正の内容

(1) 各種施策を推進するための人的体制

介護保険制度の改正では、①介護予防・日常生活支援総合事業の実施、②在宅医療・介護連携の推進、認知症施策の推進、生活支援の充実・強化に取り組み、住み慣れた地域で「医療」、「介護」、「予防」、「生活支援」、「住まい」が一体的に提供され生活できる環境（地域包括ケアシステム）の実現を目指すことが求められています。

当町の高齢化率や現行の地域包括支援センターの活動状況、介護事務現場の状況等を総合的に判断し、早急に人的体制の充実を図り、地域支援各種事業を推進する体制構築を早急に進めていくことが必要と考えます。

(2) 在宅医療・介護連携の推進、介護予防・認知症施策の推進、生活支援の充実・強化

これらの施策に対する取り組みは、平成29年度からの本格実施に向けて進めていきたいとの説明です。

少しでも早く具体的な準備を整えていただきたい。そのためには、国の方針等を勘案しながら進めることを原則としつつも、当町の実態（実情・特性）を加味したうえで、今までの地域包括センターの

在り方をしっかり検証し、積極的に取り組む姿勢や施策の方向性を強く持っていただきたい。

2. 北海道財政安定化基金（町債）の借入限度額

今期計画までの介護事業量予測は、的確ではなく、結果として歳入欠陥となり借入れすることとなりました。

介護会計の原則としては、次期介護保険料に上積みし積算すべきであるが、急激な保険料の値上げは大きな負担であり厳しく、ここに至る行政の責任も大きいと考えます。

運営協議会を経て、当該借入金の返済を被保険者に負担させることなく、一般会計において負担することは理解します。その上で、負担する財源の内容を一般町民が理解できるように、分かりやすく示すべきです。

3. 介護保険料の積算

第6期計画においては介護保険給付費の伸びを毎年5%程度と見込み、国の調整交付金（介護報酬の減額改定）を加えて積算したことによる基準月額保険料を5,300円とすることは、妥当であると考えます。条例改正後、広報などで町民周知に努めていただきたい。

【総体意見】

目まぐるしく変化する国の介護制度の改正に適確に対応するとともに、当町の高齢化率が40%に達している現状を思慮し、前述の(1)と(2)の論点意見を精査のうえ、第6期福島町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の基本方針等により高齢者が安心して暮らすことのできる生活環境の実現に取り組むことを強く期待します。

経済福祉

「今後の介護保険事業の運営等について」を調査

高齢者が安心して暮らせる生活環境の実現を強く期待

文書質問

問 当町は現在1年間に誕生する子どもが20人前後になってしまいました。このままでは近い将来、消滅する自治体に数えられていることが現実になってしまいます。

是非、町ができる対策案を持たなければなりません。

その一環として、若い夫婦が定住でき安心して子育てができる絶え間ない支援施策が必要であります。子育てには相当の費用を要します。基本的には成人又は大学卒業までの各種対策を持つべきと考えます。

端緒として先ずは定住を容易にするため表題の補助対策を実行することであると思います。子育て期間中の年月を、経済的負担が過重にならない定住支援提供を行うことが出来れば安定した生活が可能になります。

現在、当町には空き家が多くなりつつあります。子育て世帯に、年間一定の件数及び一定額での中古住宅の取得及びリフォーム補助対策の実現は、若い夫婦の経済負担の軽減にも繋がり、中古住宅の再活用など様々な経済効果をもたらします。

現在少子化対策を真剣に検討していく方向にあるようですが、現時点での概ね成人までの支援対策、プログラムの考えを示してください。

子育て世代に対する中古住宅の取得及びリフォーム補助対策を

質問者：川村 明雄 議員

(提出日 4月16日、回答日 4月23日)

答 人口減少対策の基本的方針としては、子育て世代への経済的負担の軽減や子育て環境の充実を図りながら、1次産業への就業支援など産業振興に対する施策を実施することで、若者等の移住や定住を促進し地域の再生を図ることと考えております。

質問の「中古住宅の取得及びリフォーム補助対策」の中で、中古住宅の取得に関しては、「定住促進住宅等奨励事業」として、子育て世代に限らず定住を目的に住宅を新築または中古住宅等を購入した場合、状況に応じて25万円から100万円の範囲で奨励金を交付しているところです。

定住及び少子化対策については、現在、実施している施策を今後も展開してまいります。「まち・ひと・しごと創生法」では、若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現が重要施策として掲げられておりますので、今年度中に策定する「福島町総合戦略」において、更なる子育て世代の経済的負担の軽減に繋がる施策展開が可能を検討してまいります。

平成27年度版

議会白書



平野 昌平 議員



加藤 雅行 議員



佐藤 孝男 議員



滝川 明子 議員



花田 勇 議員



木村 隆 議員



藤山 大 議員



川村 明雄 議員



熊野 茂夫 議員



平野 隆雄 副議長



渡部 幸基 議長

北海道福島町議会

http://www.gikai-fukushima-hokkaido.jp

e-mail gikai@town.fukushima.hokkaido.jp

〒049-1392 北海道根室郡福島町字福島 820

010-139-47-2215 fax47-102

平成27年5月作成

平成27年度『議会白書』

1年間(H26年度)の活動内容を 1冊にまとめました!

平成26年度の議会の活動をまとめた「平成27年度版 議会白書」が完成しました。

これまでの議会改革の経緯や、本会議での一般質問の項目、各常任委員会での調査項目等をまとめ、全議員の会議や行事等への参加状況も一目でわかるようになっています。

内容は、議会ホームページよりご覧ください。

○議会HP <http://www.gikai-fukushima-hokkaido.jp/>

(リンク先)

○福島町HP <http://www.town.fukushima.hokkaido.jp/>

議 会 の 評 価

【平成26年度(1年間)の活動結果】

議会は、町民に議会・議員の活動内容を周知し、情報を共有することにより、議会活動の活性化を図るため、しっかりと現状を把握し議会の評価を行っています。

議会活動を主要10項目と具体的な36項目に区分し、議員・議会の活動状況の基礎資料と、全国・全道の町村議会の実態や先進的な運営をしている議会などと比較検討し、議会運営委員会（4月16日決定）が評価して町民に公表するものです。

本年度は、平成27年8月に改選期を迎えることから、4年間の総合的な視点を含めた評価となっています。

昨年度との比較で良化・悪化した項目はありませんでしたが、本年度も引き続き、「町民が実感できる政策を提言する議会」を目指し、評価結果・諮問会議の意見を参考にしながら新たな課題を設定し、豊かな福島町のために不断の努力を続けてまいります。

【評価の分類：○＝「概ね一定の水準にある」 △＝「一部水準に達成していない」 ▲＝「取組みが必要」】

| 主 要 評 価 項 目 | 具体的な項目 | 過去3年間の評価 | | | H26 評価 | 4年間の総合的な視点を含んだコメント |
|-------------|-------------------------|----------|-----|-----|--------|---|
| | | H23 | H24 | H25 | | |
| 1. 議会の 活性化 | ①一般質問 | △ | △ | △ | △ | 昨年度に比べ延べ人数は4人、項目数では6件減少した。1定例会平均人数4.3人（全国6.2人：全道＝4.6人、渡島管内＝5.3人）となっている。より、積極的な一般質問への取組みが必要である。一般質問の追跡調査を実施している。 |
| | ②質 疑 | ○ | ○ | ○ | ○ | 本会議を始めとし、予算・決算特別委員会の審議も活発に行っている。引き続き質疑内容を充実する。 （本会議の質問率：定例87.5%、定例外38.0%） （平均質問者・件数：定例8.8人、78.5回 定例外3.5人、15.0回） |
| | ③討 議 | △ | △ | △ | △ | 運営基準を改正し本会議で討議を行うための内容を追加したが、その実施には至っていない。常任委員会では論点を整理し討議を行っている。引き続き討議の実施に向けた取組みが必要である。 |
| | ④討 論 | △ | △ | △ | △ | 常任委員会活動の充実により討論は少ないものとなっている。引き続き論点・争点を明らかにした討論への取組みが必要である。 （H25＝本会議2件 延べ4人、H26＝本会議2件 述べ6人） |
| | ⑤議員提案 | △ | ○ | ○ | ○ | 常任委員会で一般質問項目を参考にした調査への取組み及び所管事務調査結果を行政側に直接伝えることで議会の考えが政策等に反映されるようになった。政策を反映する条例提案までには至っていない。 |
| | ⑥文書質問 | △ | △ | △ | △ | 質問が特定の議員に偏っている。政策提案等に向けた文書質問への取組みが必要である。 （H25＝実2人、9項目・H26＝実2人、8項目） |
| 2. 議会の 公開度 | ①委員会の公開 | ○ | ○ | ○ | ○ | 本年度は100%公開し、委員会もライブ中継を行っている。 |
| | ②審議記録の公開 | ○ | ○ | ○ | ○ | ホームページで全て公開している。 |
| | ③審議前の会議資料の公開 | ○ | ○ | ○ | ○ | ホームページの容量的制限を受けるもの（予算書など）以外は、基本的に全て公開している。 |
| | ④議会経費の公開 | ○ | ○ | ○ | ○ | 決算内容を含め、交際費及び政務活動費などの詳細も全て公開している。 |
| | ⑤視察報告の公開 | ○ | ○ | ○ | ○ | 本会議及びホームページで公開している。 |
| | ⑥全員協議会の公開 | ○ | ○ | ○ | ○ | ライブ中継により公開し資料提供もしている。 |
| | ⑦会議公開の充実（ライブ中継） | ○ | ○ | ○ | ○ | 光回線の開通によりライブ中継の画質が向上し、同時アクセスによる映像停止等の障害が改善された。H27に機器の更新を予定している。全道＝56議会 |
| 3. 議会の 報告度 | ①議会だより・速報版等の発行 | ○ | ○ | ○ | ○ | ページ数を増やし常任委員会の活動内容をより分かりやすくまとめ、質疑等の内容紹介も充実させた。全道＝単独発行119議会 |
| | ②議会ホームページの運用 | ○ | ○ | ○ | ○ | 議会単独HPを取得し情報容量を拡大している。H27に充実したホームページの運用に向けCMS（※）方式に変更する予定である。全道単独HP＝6議会 |
| 4. 住 民 参加度 | ①各種団体との懇談会の開催（常任委員会の活動） | ○ | △ | △ | △ | テーマと開催方法（住民主催等）を工夫した取組みが必要である。常任委員会の活動として、奨学資金制度や漁業協同組合支援、陽光園視察を通じて各種団体の意見も取り上げている。 〔懇談会：H24＝1回、H25＝1回、H26＝0回、出前議会：H24＝1回〕 |
| | ②町民と議員との懇談会の開催 | ○ | ○ | ○ | ○ | 3班集体で町内会単位の開催方法は住民にも浸透している。引き続き懇談内容の充実への取組みが必要である。 （H25＝6日間・18会場・121人、H26＝6日間・18会場156人）全道＝62議会 |
| | ③参画者への対応と参加度 | △ | ○ | ○ | ○ | 参画者にも同様の資料を用意している。討議への参画が課題である。 （H25＝定例82人、平均20.5人 定例外9人、平均1.1人） （H26＝定例51人、平均12.8人 定例外25人、平均3.1人） （全道平均＝定例9.9人 定例外0.9人） |
| | ④休日・夜間議会の開催 | ○ | ○ | ○ | ○ | H19から夜間議会を開催している。休日議会は未実施である。 〔H25＝43人、H26＝15人〕 全道＝夜間7議会、休日8議会 |

※「討論」とは、議会の会議において、表決の前に、議題となっている案件に対し、賛成か反対の議員個々の意思を表明すること。

| 主要評価項目 | 具体的な項目 | 過去3年間の評価 | | | H26評価 | 4年間の総合的な視点を含んだコメント |
|---------------|-------------------------|----------|-----|-----|-------|--|
| | | H23 | H24 | H25 | | |
| 5. 議会の民主度 | ①一般質問の一問一答方式 | ○ | ○ | ○ | ○ | 一問一答方式を実施している（H12）。質問回数と時間制限の規定を廃止している（H20）。全道＝110議会 |
| | ②説明員との対面方式 | ○ | ○ | ○ | ○ | 庁舎建設時から実施している（H6）。全道＝127議会 |
| | ③一般質問の答弁書配付 | ○ | ○ | ○ | ○ | 実施済み（H13.9）。質問に関する的確な（漏れや補足答弁を必要としない）通告書、答弁書となるように改善していくことが必要である。 |
| 6. 議会の監視度 | ①長との適正な関係の維持 | ○ | ○ | ○ | ○ | 福島町議会議員の不当要求行為等を防止する条例を制定（H20）。町長との適正な緊張関係を維持している。 |
| | ②全員協議会の適切な運用 | ○ | ○ | ○ | ○ | 事前協議となるような執行者からの要請による開催はしない。 |
| | ③議会権能（けん制・批判・監視等）の適切な遂行 | ○ | ○ | ○ | ○ | 「問責決議（H25.3月会議）」及び「辞職勧告決議」（H26.3月会議）を可決した。常任委員会等の所管事務調査結果を手交している。一般質問等の追跡調査要綱を作成しH27.3月会議から実施している。 |
| 7. 議会の専門度 | ①所管事務調査の充実強化 | ○ | ○ | ○ | ○ | 常任委員会の所管事務調査は論点・争点を整理し委員間で討議し意見をまとめている。調査意見を行政側に説明し手交することで委員会の意向が政策に反映されるようになった。また、H25より一般質問項目を対象とした所管事務調査に取り組んでいる。〔H26調査意見書13件〕 |
| | ②政策立案・審議能力の向上強化 | ○ | ○ | ○ | ○ | 上記①の中でH21.10月に議会が町長に提出した「総合計画に係る提言書」の主要な項目を検証し、政策立案に結び付くよう活動した。H25.12月に「第5次福島町総合計画策定に係る提言書」として83の課題項目を設定し、それぞれの解決に向けた方策等の考え方を示し町長に提出した。事務事業評価（H24決算）の実施。予算説明資料の充実（事業内容等を追加）により審議が活性化した。懸案であった「総合計画の策定と運用に関する条例」、「公共施設維持保全計画」、「企業振興条例」の策定については、議会側の意向が大きく反映された。 |
| | ③議決権範囲の拡大 | ○ | ○ | ○ | ○ | 町の主要計画を議決対象としたことで、各計画が広く認識され内容の充実にも繋がった。上記①において議決した計画書の取り組み状況を調査した。 |
| 8. 事務局の充実度 | ①議場・委員会室の整備充実 | ○ | ○ | ○ | ○ | H26から常任委員会を議場で開催しライブ中継している。第5次総合計画に「議場等音響設備更新事業」と「議場映像設備更新事業」の2事業をH28の実施に向けた計画登載を協議中である。 |
| | ②事務局の充実強化 | ○ | ○ | ○ | ○ | 情報公開の迅速化、充実した情報・資料収集、法務能力の向上などに取り組んでいる。体制は正職員3人、臨時1人で充実している。 |
| 9. 適正な議会機能 | ①法規定以外の執行部付属機関への委員就任廃止 | ○ | ○ | ○ | ○ | 法定となっている、民生委員推薦委員会、都市計画審議会、青少年問題協議会のみ就任している。 |
| | ②適正な議会経費 | △ | ○ | ○ | ○ | 諮問会議の答申を踏まえ、適正な議会活動費の基準となる標準額を決定した。（標準額＝3,184千円・H26決算見込額＝2,747千円） |
| | ③議会の自主性強化 | ○ | ○ | ○ | ○ | 「議会基本条例見直し検討による行動計画」に基づき課題に取り組んでいる。 |
| | ④議会付属機関の設置 | ○ | ○ | ○ | ○ | 福島町議会基本条例諮問会議を設置し毎年度数項目を諮問し、それぞれ答申を受け議会活動に反映している。 |
| | ⑤系統議長会の体制整備 | △ | △ | ○ | ○ | 道議長会に対し、町村議会が利用しやすいホームページへの見直しを要望している。（資料提供、道内の町村議会のリンク等） |
| 10. 研修活動の充実強化 | ①研修の効率的な取り組み | ○ | ○ | ○ | ○ | 本会議等の事前勉強会を実施し議案等の要点や問題点を確認している。議員研修会及び政務活動研修の報告会を開催し情報共有を図っている。（H25＝勉強会「本会議4回」、報告会1回）（H26＝勉強会・本会議4回、常任委員会・2回、報告会2回） |

議会評価に対する 諮問会議の意見

去る5月18日(月)に開催された「議会基本条例諮問会議」において、平成26年度分の議会評価の内容等を検討していただきました。

諮問会議条例第2条に基づき、議長から調査審議を求められている事項のうち、平成26年度分の議会評価について、議会で決定した評価項目ごとの内容を検討し、次のとおり諮問会議の意見と改善内容をまとめましたので、その概要をお知らせします。

1. 議会の活性化（18ページの内容）

④ 討論

「討論」の意味を記載したほうが良い。

→18ページの下段に説明書きを追加しました。

2. 住民参加度（18ページの内容）

① 各種団体との懇談会の開催（常任委員会の活動）

他の具体的な活動内容も記載したほうが良い。

→コメント欄に具体的な内容を追加しました。



「議員活動の自己評価」!

平成26年度分（平成26年4月～平成27年3月）

平成17年分の議会活動から始めた議員の自己評価は、今回で10回目となります。議員自己評価は、10名から提出がありました。右表のとおり5分野について具体的に取り組んだ事項を3段階で自己評価したものです。

集計の結果、「取組の評価」については、項目全体の142項目中、「○ほぼ満足」は81件で57%、「△努力が必要」は50件で35%、「▲さらに努力が必要」は11件で8%となりました。

次に、「結果の評価」については、項目全体の142項目中、「○ほぼ満足」は56件で39%、「△努力が必要」は54件で38%、「▲さらに努力が必要」は32件で23%となりました。

取組の評価では「○ほぼ満足」が57%であるが、結果の評価では39%と大きく差があります。このことから、今後も各議員の取り組みが今まで以上に結果として反映されるように努力する必要があります。

また、議員個人としての活動について、3名の議員から報告がありました。

□ 自己評価は次の指針により実施しています。

| 主要指針 | 評価の指針等 |
|-------------------|---|
| 1. 態度評価 | 町民の立場で発言・行動をしているか。議会での態度（居眠り、私語など）、審議の態度（品位の保持、審議への協力度） |
| 2. 監視評価 | 一般質問、討論、質疑・意見交換・討議（発言）などで行政執行をチェックしたか。 |
| 3. 政策提言評価 | 町民の意向を政策に反映させるため、行政への一般質問、討論、質疑・意見交換・討議（発言）などで政策提言をしたか。 |
| 4. 政策実現評価 | 一般質問、討論、質疑・意見交換・討議（発言）などで指摘した事項が改善されたか。また、政策提言した事項が実現したか。 |
| 5. 自治活動・議会改革取組み評価 | 議会報告をしているか。地域活動へ参加しているか。町づくりなどへの貢献度はどうか。町民ニーズの把握はどうか。 |

○議員別の評価集計

| 議員名 項目 | 平沼昌平 | | 佐藤孝男 | | 滝川明子 | | 花田 勇 | | 木村 隆 | | 藤山 大 | |
|------------|------|----|------|----|------|----|------|----|------|----|------|----|
| | 取組 | 結果 | 取組 | 結果 | 取組 | 結果 | 取組 | 結果 | 取組 | 結果 | 取組 | 結果 |
| ○ ほぼ満足 | 11 | 7 | 9 | 9 | 4 | 2 | 5 | 1 | 13 | 11 | 13 | 6 |
| △ 努力が必要 | 3 | 6 | 0 | 0 | 8 | 10 | 1 | 5 | 1 | 2 | 3 | 8 |
| ▲ さらに努力が必要 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 |
| 計 | 14 | 14 | 9 | 9 | 12 | 12 | 6 | 6 | 14 | 14 | 16 | 16 |

| 議員名 項目 | 川村明雄 | | 熊野茂夫 | | 平野隆雄 | | 溝部幸基 | | 合計 | |
|------------|------|----|------|----|------|----|------|----|-----|-----|
| | 取組 | 結果 | 取組 | 結果 | 取組 | 結果 | 取組 | 結果 | 取組 | 結果 |
| ○ ほぼ満足 | 10 | 9 | 11 | 8 | 3 | 1 | 2 | 2 | 81 | 56 |
| △ 努力が必要 | 8 | 5 | 0 | 3 | 9 | 9 | 17 | 6 | 50 | 54 |
| ▲ さらに努力が必要 | 0 | 4 | 0 | 0 | 1 | 3 | 10 | 21 | 11 | 32 |
| 計 | 18 | 18 | 11 | 11 | 13 | 13 | 29 | 29 | 142 | 142 |

〔分野別の評価種類は、次のとおり省略しています。「取組」＝取組の評価 「結果」＝結果の評価〕

○議員個人としての活動

| | 滝川明子 | 花田 勇 | 溝部幸基 |
|-------------|-----------|------|------|
| 報告会等の実施 | — | 7 | 1 |
| 議員だよりの発行 | — | — | — |
| 個人ホームページの開設 | — | — | ○ |
| その他 | ボランティア諸活動 | — | — |

●議員活動の目標（公約）

選挙公報による公約とともに、適正な議会・議員の役割を果たすために、前年の自己評価による反省点や課題などを翌年の議会・議員活動の目標（公約）として、平成19年から公表しています。

本年度は、10名の議員で総数111項目（昨年度：10名提出 142項目）となりました。なお、本年9月が改選期のため目標期間を4月から8月までとしています。【個人票はP24～P25に掲載しています。】

「議員」の評価結果（個人票）

評価の分類： ○＝「ほぼ満足」 △＝「努力が必要」 ▲＝「さらに努力が必要」

評価期間：平成26年4月～平成27年3月

平沼昌平 59歳

議会運営委員長、経済福祉常任委員 議員歴10年

| 分野 | 具体的な項目 | 評価 | |
|----|---------------------------|----|----|
| | | 取組 | 結果 |
| 行政 | 雇用の場の創出に向けての提言 | ○ | △ |
| | 町民視点での行政運営推進に対する提言 | ○ | △ |
| 財政 | 健全な財政運営と効率的な事務事業の推進に対する提言 | △ | △ |
| 経済 | 後継者育成と定住促進に向けての提言 | ○ | △ |
| | 農林水産業に関する基盤整備と経営安定化への提言 | ○ | ○ |
| | 町内のインフラ整備と建設・土木事業の推進への提言 | ○ | ○ |

| 分野 | 具体的な項目 | 評価 | |
|-----|-----------------------------|----|----|
| | | 取組 | 結果 |
| 福祉 | 高齢者の生活環境整備とサポート体制への提言 | ○ | ○ |
| | 高齢者福祉の充実と将来的施設整備に向けた提言 | ○ | ○ |
| 教育 | 歴史・文化に対する町民意識向上と文化財の保護への提言 | ○ | △ |
| | 生活習慣・基礎学力向上に向けた提言 | △ | ▲ |
| その他 | 水道事業の将来的方向性と対応についての提言 | △ | △ |
| | 松前半島高規格道路整備推進に向けた提言 | ○ | ○ |
| | 防災体制の施設整備と環境整備の在り方について提言 | ○ | ○ |
| | 旧吉岡小学校周辺公共施設跡地利用計画に対する取組と提言 | ○ | ○ |

佐藤孝男 68歳

総務教育常任委員、
渡島西部広域事務組合議会議員 議員歴20年

| 分野 | 具体的な項目 | 評価 | |
|----|---|----|----|
| | | 取組 | 結果 |
| 行政 | 防災対策の推進（備蓄庫の建設） | ○ | ○ |
| | 全町防災訓練の実施 | ○ | ○ |
| 財政 | 健全な財政運営の各事業へのチェック強化 | ○ | ○ |
| 経済 | 農業、林業、水産業の推進（鳥獣被害対策の強化・遊休農地の推進・ナマコ放流事業の継続・作業道の推進） | ○ | ○ |

| 分野 | 具体的な項目 | 評価 | |
|-----|-----------------------|----|----|
| | | 取組 | 結果 |
| 福祉 | 予防医療の推進 | ○ | ○ |
| | ゴミ不法投棄防止提言 | ○ | ○ |
| 教育 | 学校給食センターへの地産地消への強化 | ○ | ○ |
| | 体験学習（食育）、福小・吉小 田植え等実施 | ○ | ○ |
| その他 | 町内会活動への参画 | ○ | ○ |

滝川明子 73歳

議会運営委員会副委員長、総務教育常任委員 議員歴24年

| 分野 | 具体的な項目 | 評価 | |
|----|----------------------|----|----|
| | | 取組 | 結果 |
| 行政 | 防災の町づくりへ推進 | ○ | ○ |
| | 男女協同参画の推進 | ○ | △ |
| 財政 | 住宅リフォームの助成を | △ | △ |
| 経済 | 若者雇用の場づくりを中心に定住対策の推進 | △ | △ |
| | 特養ホームの増床 | △ | △ |
| 福祉 | 介護保険制度の適用改善 | △ | △ |
| | ゆとらぎ館の建替を | △ | △ |

| 分野 | 具体的な項目 | 評価 | |
|-----|---------------------------|----|----|
| | | 取組 | 結果 |
| 教育 | 食育推進 | △ | △ |
| | 高校存続対策推進 | △ | △ |
| その他 | 生涯教育・社会教育の充実 | △ | △ |
| | 議会基本条例に基づく活動の推進（活発な討議、討論） | ○ | △ |
| | 生活相談活動 | ○ | ○ |

花田 勇 74歳

経済福祉常任委員会副委員長、議会運営委員 議員歴4年

| 分野 | 具体的な項目 | 評価 | |
|----|---|----|----|
| | | 取組 | 結果 |
| 行政 | 行政・議会、町民との一体感がなかなか取れていないと感じており、三位一体になれるよう努力したい。 | ○ | △ |
| 財政 | 平成27年度から始まる第5次福島町総合計画には町施設の改修等大きな問題をかかえており財政規律を守り、無駄が無い財政運営に努力する。 | ○ | △ |
| 経済 | 一次産業や観光開発に対して努力していきたいが、それに対する支援を受ける事業者が真剣に受け入れ、実行してくれることに取り組みたい。 | ○ | △ |

| 分野 | 具体的な項目 | 評価 | |
|-----|---|----|----|
| | | 取組 | 結果 |
| 福祉 | 高齢化の進む中で介護支援者が多くなって来ます。今後も介護保険の財務が厳しいと思うので、財務内容をどうするのかをテーマ | ○ | ○ |
| 教育 | 学力向上のため、どう有るべきかと考えて、教育委員会（教育長を含め）学校側と、又、父兄と話し合いを多く持って努力すべきと思います。 | △ | △ |
| その他 | 町民は議会（議員）に対して、福島を良くしてくれとよく言いますが、町民側も自分達が町を活性化するために行政・議会と一緒に努力すべきと考えて、努力します。 | ○ | △ |

21 福島町議会だより

木村 隆 35歳

経済福祉常任委員長、
渡島西部広域事務組合議会議員

議員歴 8 年

| 分野 | 具体的な項目 | 評価 | |
|----|--|----|----|
| | | 取組 | 結果 |
| 行政 | 第5次福島町総合計画事業計画への提言とそれに伴う、佐藤町政の町づくりの方向性の明確化 | ○ | ○ |
| | 平成25年度決算認定の対応（問責決議可決した佐藤町政の行政運営への扱い） | ○ | ▲ |
| | 防災無線の利用についての提言 | ○ | △ |
| 経済 | 不可解な道の駅構想の更なる明確化 | ○ | ○ |
| | 企業誘致の方向性の明確化 | ○ | ○ |
| | 旧吉岡小学校跡地利用問題の対応 | ○ | ○ |

| 分野 | 具体的な項目 | 評価 | |
|-----|--|----|----|
| | | 取組 | 結果 |
| 福祉 | 不可解な吉岡温泉の方向性の明確化 | ○ | ○ |
| | 試験運行が終わったデマンドバスの本運行に向けた検討 | ○ | ○ |
| 教育 | 町民プール利用料問題の明確化 | △ | △ |
| その他 | 助成金政策（屋根の雪下ろし、企業振興条例など）の町民利用を図るための個人的なPR活動 | ○ | ○ |
| | 渡島西部広域議員としての議会対応や議員活動（小型家電リサイクル問題など） | ○ | ○ |
| | 不可解な佐藤町政運営のチェックの強化 | ○ | ○ |
| | 青年部活動を始めとした所属団体の活動協力 | ○ | ○ |
| | 昨年以上の自民党政権下におけるパイプ作り | ○ | ○ |

藤山 大 40歳

経済福祉常任委員 議員歴 6 年

| 分野 | 具体的な項目 | 評価 | |
|----|---|----|----|
| | | 取組 | 結果 |
| 行政 | 住民（町民）からの要望を政策提案 | ○ | ○ |
| | 安心安全な町を目指しての防災対策 | ○ | ○ |
| | 笑顔での行政対応 | ○ | △ |
| 財政 | 財政健全化への取り組み | ○ | △ |
| | 町内景気の活性化と行政サイドのスピーディーな対応 | △ | △ |
| 経済 | 町が誇れる特産品アピール（するめ、昆布、しいたけ、古代米、味来、ブルーベリー、ナマコほか） | ○ | ○ |
| | 観光活用による町内経済の活性化（千軒岳、横綱ビーチ、両記念館、温泉、岩部海岸ほか） | ○ | △ |
| | 道の駅構想の今後のあり方と前向きな取り組み | △ | △ |

| 分野 | 具体的な項目 | 評価 | |
|-----|-------------------------------------|----|----|
| | | 取組 | 結果 |
| 福祉 | 独居の方々との地域コミュニティ | ○ | △ |
| | 予防医療の推進 | △ | △ |
| | 新婚補助条例の制定への取り組み | ○ | ▲ |
| 教育 | 高校存続への努力 | ○ | ○ |
| | 部活動の強化、指導、支援 | ○ | ○ |
| その他 | ボランティア活動の参加 | ○ | ○ |
| | 伝統行事の存続と支援と参加（松前神楽、荒馬、四ヶ散米、奴、七福神ほか） | ○ | ▲ |
| | 未来を担う子供達の支援と指導 | ○ | △ |

川村 明雄 69歳

総務教育常任委員会副委員長、
議会運営委員、監査委員

議員歴 7 年

| 分野 | 具体的な項目 | 評価 | |
|----|------------------------------|----|----|
| | | 取組 | 結果 |
| 行政 | 定住及び少子化対策への政策提言 | ○ | ○ |
| | 新計画施設等への財政、町興し等あらゆる面からの論議、提唱 | ○ | △ |
| 財政 | ふるさと応援基金や財政調整基金の有効活用の推進 | △ | ▲ |
| | 各施設の利用増加考察と収入維持対策への提言 | ○ | ○ |
| 経済 | 空き家の利活用や処理対策の推進 | △ | ▲ |
| | 「福島町ブランド」の考察展開と人材対応 | △ | △ |
| 福祉 | 少子化への対策と子育て支援問題への提言 | ○ | ○ |
| | 高齢者に住みやすいまちへの政策推進 | △ | ▲ |

| 分野 | 具体的な項目 | 評価 | |
|---------------|----------------------------|----|----|
| | | 取組 | 結果 |
| 教育 | 生涯学習及び人材育成推進対策 | △ | △ |
| | 福島高校存続対策の強化推進 | △ | ○ |
| その他 | 議会基本条例及びまちづくり基本条例に基づく活動と展開 | △ | △ |
| | 町内会活動及び団体活動への参画理解 | ○ | ○ |
| | 文化活動への参画、ボランティア活動の実践 | ○ | ○ |
| | 町民生活相談等への対応 | ○ | △ |
| | 町内の美化及び環境問題の考察 | ○ | ○ |
| | 付加価値の高い一品の創設及び地産地消思考 | △ | ▲ |
| | 未来の魅力あるまちづくりへの提言、議論等 | ○ | ○ |
| 各種研修会、講習会への参加 | ○ | ○ | |

熊野茂夫 65歳

総務教育常任委員長、議会運営委員 議員歴4年

| 分野 | 具体的な項目 | 評価 | |
|----|----------------------------|----|----|
| | | 取組 | 結果 |
| 行政 | 「総合計画条例」への推進・提言 | ○ | ○ |
| | 各公共施設の整備・改修への提言 | ○ | ○ |
| | 「総合防災計画」制定の推進と諸提言 | ○ | ○ |
| 財政 | 財政健全化の取組み（将来を見据えた予算編成への提言） | ○ | ○ |
| 経済 | 水産業、農林業、商工業の振興のための諸提言 | ○ | ○ |

| 分野 | 具体的な項目 | 評価 | |
|-----|-------------------------|----|----|
| | | 取組 | 結果 |
| 福祉 | 高齢者が利用しやすい公共施設の改修への提言 | ○ | △ |
| | 介護保険とその健全な財政運営への諸提言 | ○ | △ |
| | 国民健康保険会計とその健全な財政運営への諸提言 | ○ | △ |
| 教育 | 教育環境の再編と充実のための諸提言 | ○ | ○ |
| | 小・中学生の基礎学力向上への提言 | ○ | ○ |
| その他 | 生活環境の改善への提言 | ○ | ○ |

平野隆雄 66歳

副議長、総務教育常任委員、経済福祉常任委員、
広報・広聴常任委員長、渡島廃棄物処理広域連合会議員 議員歴19年

| 分野 | 具体的な項目 | 評価 | |
|----|-------------------|----|----|
| | | 取組 | 結果 |
| 行政 | 町基盤産業の支援・町内景気の活性化 | △ | ▲ |
| | 自然環境保全・汚染防止対策 | △ | △ |
| 財政 | 福島川改修事業の推進 | ○ | △ |
| | 町施設の利用促進・円滑な管理運営 | △ | △ |
| 経済 | 町内特産物のブランド化の促進 | ▲ | ▲ |
| | 町内起業家の育成、支援対策 | △ | △ |

| 分野 | 具体的な項目 | 評価 | |
|-----|------------------|----|----|
| | | 取組 | 結果 |
| 福祉 | 健康な町づくりの推進・医療費助成 | ○ | ○ |
| | 給食を通した食育と地産地消促進 | △ | △ |
| 教育 | 少子化の中の教育行政の見直し | △ | △ |
| | 生涯学習の専門指導者の配置 | △ | ▲ |
| その他 | 学校における相撲の推進 | ○ | △ |
| | 吉岡温泉の円滑な管理運営 | △ | △ |
| | 横綱ビーチの利用促進 | △ | △ |

溝部幸基 67歳

議長、総務教育常任委員、渡島西部広域事務組合会議長、
渡島廃棄物処理広域連合会議員 議員歴35年

| 分野 | 具体的な項目 | 評価 | |
|----|---|----|----|
| | | 取組 | 結果 |
| 行政 | 「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進 (総合計画条例に関する提言) | △ | ▲ |
| | 行政情報の公開・共有の積極的推進 | △ | ▲ |
| | 広域行政の連携推進 | ▲ | ▲ |
| | 行政サービスの効率的な運営への提言 (外部委託・時間差出勤・研修等) | △ | ▲ |
| | 防災対策の提言 (災害弱者・訓練・冬季対策等：危機管理に関する研修) | △ | ▲ |
| | 浄化槽（下水道整備）の普及推進 | ▲ | ▲ |
| 財政 | 財政健全化への取り組み (予算・決算審査・行政評価充実：基金の有効活用) | △ | △ |
| | 公共施設白書に関する研修 ・退職手当制度の抜本的改善 | △ | ▲ |
| | 新しい仕事の創出（起業）に挑戦できる支援システムの創設 | ▲ | ▲ |
| 経済 | 異業種連携による「福島ブランド」の開発 | ▲ | ▲ |
| | インターネット販売（地場産品）の推進（町HPの積極的活用等） | △ | ▲ |
| | 地球温暖化対策の提言 (リサイクル事業・生ごみ堆肥化・森林整備等) | △ | ▲ |
| 福祉 | 「健康な町づくり」（全町的な取り組み）で医療費の節減 | ▲ | ▲ |
| | 予防医療の推進 | ▲ | ▲ |
| | 在宅介護支援体制の整備 | △ | ▲ |

| 分野 | 具体的な項目 | 評価 | |
|-----|--|----|----|
| | | 取組 | 結果 |
| 教育 | 広範な分野（産業・福祉・生涯学習等）の人材育成基金創設 | △ | ▲ |
| | 子どもや高齢者が積極的に参加する幅広い生涯学習の推進 | ▲ | ▲ |
| | 「子育て基本条例」制定に向けた取組み（情報収集・研修） | ▲ | ▲ |
| | 「自分（達）ですべき事は自分（達）でする」主体性をもった自治活動の推進 | ▲ | ▲ |
| | 食育・地産地消の推進 (「食育基本計画」制定→情報収集・実践計画・研修) | △ | ▲ |
| その他 | わかりやすく、町民が参加出来る議会の実現 (議会基本条例の周知) | △ | △ |
| | 活発な討議（討論）ができる議会の実現 | △ | △ |
| | 政策的な提案のできる議会の実現 | △ | △ |
| | 町議会議員選挙への供託金制度導入 | ▲ | ▲ |
| | インターネット映像配信システムの充実（光回線の整備） | △ | ▲ |
| | 幅広い情報収集、積極的な研修参加 | △ | △ |
| | 視察の積極的な受け入れ（久慈市、置賜郡議長会、江差町、田子町、厚沢部町、沖縄市他計15団体62名：3市8町村1大学3その他） | ○ | ○ |
| | ホームページの充実（提案、情報発信、参加型） | △ | △ |
| | 各種行事、研修への積極的な参加（活動実日数231日） | ○ | ○ |

議員活動の目標（公約）（個人票）

目標期間：平成27年4月～平成27年8月

〔平沼昌平〕

| 分野 | 具体的な目標項目 |
|-----|---|
| 行政 | 雇用の場の創出に向けての提言 |
| | 各自治体の広域連結と役割分担を提言し、広域観点から人口減少と地方創生に向けての取組を提言する。 |
| 財政 | P（計画）D（実施）C（評価）A（改善）の4つの視点に事務事業の推進を提言 |
| 経済 | 後継者育成（全業種）と定住化促進に向けてのI・U・Jターナー者の対応の提言 |
| | 農林水産業に対する施設基盤整備と経営安定化に対する提言 |
| | 町内インフラ整備の充実と保守維持体制に対する提言 |
| 福祉 | 高齢者の生活環境の充実とサポート体制への提言 |
| | 在宅介護支援に対する福祉事業の充実に向けての提言 |
| 教育 | 道徳教育を中心とした教育体制の提言 |
| | 気軽に社会教育に参加出来る施設環境に対する提言 |
| その他 | 松前半島高規格道路整備推進に向けての提言 |
| | 安全安心な道路網の整備と緊急時の道路整備 |
| | 吉岡支所の効率的活用と行政サービスの推進 |
| | 吉岡総合センター「なごめ～」の活用に対する提言 |

〔滝川明子〕

| 分野 | 具体的な目標項目 |
|-----|------------------------|
| 行政 | 防災の町づくりへ推進 |
| | 男女協同参画の推進 |
| 財政 | 住宅リフォーム助成を |
| 経済 | 若者雇用の場づくりを中心に定住対策 |
| | 特養ホームの増床 |
| 福祉 | 介護保険制度の適用改善 |
| | ゆとらぎ館の早期建替を |
| 教育 | 食育推進 |
| | いじめを絶対許さない対策推進 |
| | 高校存続対策推進 |
| その他 | 議会基本条例に基づく活動の推進（討議、討論） |
| | 町内会を中心にボランティア活動の推進 |

〔木村 隆〕

| 分野 | 具体的な目標項目 |
|-----|--------------------|
| 行政 | 第5次福島町総合計画の方向性の明確化 |
| 経済 | 農林業担い手支援事業の明確化 |
| その他 | 商工会青年部長としてのリーダーシップ |

〔佐藤孝男〕

| 分野 | 具体的な目標項目 |
|-----|-----------------------|
| 行政 | 公共施設の老朽化維持の検討 |
| | 基幹産業に対する振興策の検討 |
| 財政 | 健全な財政運営の各事業へのチェック強化 |
| 経済 | 農業、林業、水産業の推進 |
| | 育ての漁業・遊休農地推進、新規就業者の推進 |
| 福祉 | ゴミ不法投棄防止提言 |
| | 吉岡総合センター建設 |
| | 奨学金制度の見直し |
| 教育 | 学校給食センター、地産地消への強化 |
| | 体験学習（食育）実施 |
| その他 | 指定管理者制度の検討 |
| | 町内会活動への参画 |

〔花田 勇〕

| 分野 | 具体的な目標項目 |
|----|---|
| 行政 | 第5次福島町総合計画が確かなものとなるように議論して行きたい。 |
| 財政 | 今後も無駄のない財政運営に努力する。 |
| 経済 | 福島町活性化は一次産業にかかっていると思っているので、今後も一次産業が6次産業につながるよう努力していく。 |
| 福祉 | 介護保険財政が厳しい中でどう方法の支援をして行くべきかをテーマとして考えたい。 |
| 教育 | 教育行政（組織）の改革による内容をどう進めて行くのか…その事が今後のテーマで有って、学校側そして父兄との連携がスムーズに取れるようになることが子供達の学力向上になると思うので努力が必要。 |

〔藤山 大〕

| 分野 | 具体的な目標項目 |
|-----|-------------------|
| 行政 | 地域密着の行政対応と笑顔な対応 |
| 経済 | 各種イベントによる町内経済の活性化 |
| | 各種イベントによるイベント提案 |
| その他 | ボランティア活動の参加 |

〔川村 明雄〕

| 分野 | 具体的な目標項目 |
|-----|--|
| 行政 | 定住及び少子化対策への政策提言 |
| 財政 | ふるさと応援基金や財政調整基金の有効活用の推進 |
| 経済 | 空き家の利活用や処理対策の推進 |
| 福祉 | 少子化対策と子育て支援課題の推進 |
| 教育 | 福島高校存続対策の推進 |
| その他 | 館崎縄文土器に関するまち興し対策への考察 文化活動、ボランティア活動の推進 |

〔熊野 茂夫〕

| 分野 | 具体的な目標項目 |
|-----|--------------------------------------|
| 行政 | 「第5次総合計画」への諸提言 各公共施設の整備・改修と再編への提言 |
| 財政 | 財政健全化の取組み (将来を見据えた財政運営への諸提言) |
| 経済 | 水産業、農林業、商工業への諸提言 (各公共団体への諸支援策) |
| 福祉 | 高齢者が利用しやすい公共施設の改修の提言 |
| 教育 | 教育環境の再編と充実 |
| その他 | 生活環境の改善への提言 |

〔平野 隆雄〕

| 分野 | 具体的な目標項目 |
|----|------------------------------------|
| 行政 | 町基盤産業の支援・町内景気の活性化 |
| | 自然環境保全・汚染防止対策 |
| | 各公共施設の管理運営 |
| | 松前半島高規格道路推進 |
| 財政 | 福島川改修事業の推進 |
| | 町施設の利用促進・円滑な管理運営 |
| 経済 | 町内特産物のブランド化の促進 |
| | 町内起業家の育成、支援対策 |
| | 町内各産業の新たなブランド開発推進 |
| | インターネット活用販売促進 高齢化等における水産加工場への対応 |

| 分野 | 具体的な目標項目 |
|-----|---------------------------------|
| 福祉 | 健康な町づくりの推進・医療費助成 |
| 教育 | 給食を通じた食育と地産地消促進 |
| | 少子化の中の教育行政の見直し 生涯学習の専門指導者の配置 |
| その他 | 学校における相撲の推進 |
| | 吉岡温泉の円滑な管理運営 横綱ビーチの利用促進 |

〔溝部 幸基〕

| 分野 | 具体的な目標項目 |
|--------------------------------------|---|
| 行政 | 「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進 (総合計画に関する提言・検証) |
| | 行政情報の公開・共有の積極的推進 |
| | 広域行政の連携推進 |
| | 行政サービスの効率的な運営への提言 (外部委託・時間差出勤・研修等) |
| | 防災対策の提言 (災害弱者・訓練・冬季対策等：危機管理に関する研修) |
| 浄化槽(下水道整備)の普及推進 | |
| 財政 | 財政健全化への取組み (予算・決算審査・行政評価充実：基金の有効活用) |
| | 公共施設白書に関する研修・退職手当制度の抜本的改善 |
| 経済 | 新しい仕事の創出(起業)に挑戦できる支援システムの創設 |
| | 異業種連携による「福島ブランド」の開発 |
| | インターネット販売(地場産品)の推進 (町HPの積極的活用等) |
| 地球温暖化対策の提言 (リサイクル事業・生ごみ堆肥化・森林整備等) | |
| 福祉 | 「健康な町づくり」(全町的な取組み)で医療費の節減 |
| | 予防医療の推進 在宅介護支援体制の整備 |

| 分野 | 具体的な目標項目 |
|---|-------------------------------------|
| 教育 | 広範な分野(産業・福祉・生涯学習等)の人材育成基金創設 |
| | 子どもや高齢者が積極的に参加する幅広い生涯学習の推進 |
| | 「子育て基本条例」制定に向けた取組み(情報収集・研修) |
| | 「自分(達)ですべき事は自分(達)でする」主体性をもった自治活動の推進 |
| 食育・地産地消の推進(「食育基本計画」→情報周知・実践計画・研修) | |
| その他 | わかりやすく、町民が参加出来る議会の実現 (議会基本条例の周知) |
| | 活発な討議(討論)ができる議会の実現 |
| | 政策的な提案のできる議会の実現 |
| | 町議会議員選挙への供託金制度導入 |
| | インターネット映像配信システムの充実(光回線の整備) |
| | 幅広い情報収集、積極的な研修参加 |
| | 視察の積極的な受け入れ |
| ホームページの充実(提案、情報発信、参加型) 各種行事、研修への積極的な参加 | |

議会の懇談会

進捗状況等を説明・意見交換～

結果

概要



【開催の経緯】
5月7日(木)に各町内会長を対象とした「町内会連合会と議会の懇談会」を開催しました。
例年は「町民と議員との懇談会」として、全議員が3班に分かれ、全町内会(18会場)を対象に6日間の日程で行っていましたが、今年度は改選期により日程調整が困難なことから

意見の主な内容

【議会評価・議員評価】

● 議員の自己評価で11名のうち10名より提出がないが、誰が評価していないのか。
● 議会評価と議員評価については、素晴らしいことだと感じている。
● 議会評価の「議会の監視度」の①で「不当要求行為等を防止する条例」とあるが、この条例について教えてほしい。

【第5次福島町総合計画】

● 第5次総合計画の策定を1年延長し、これまで十分時間があつたと思うのに、さらに今後のスケジュールが先延ばしになったのはどうしてなのか。
● 第5次総合計画の遅れは、何が原因なのか。
● 常任委員会等の調査件数が多く、調査資料づくりに職員員の負担が大きかったのでは

はないか。そのことが計画策定の遅れた原因になったのではないかと。

【地方創生】

● 総合戦略の概要①「地方に安定した雇用を創出する」とあるが、町はどのように考えているのか。また、議会が議論しているのか。
● 人口が減少していくと地方交付税も減ることとなるが、松前町との合併が破談になった経緯もあり、今後の合併問題についてどのように考

えているのか。福島町単独で運営していく前提で計画を策定していくのか。単独だけでなく、広域で事業をやっているものもあるので、これらのことも視野に入れて考えてほしいと思います。
● 地方創生の事業年度はいつまでなのか。
● 総合戦略の概要について、議会としての対策はどのように考えているのか。

た項目と概要

③町長提出議案の議決状況

平成23年度から26年度まで4年間の提出議案と議決状況は、次のとおりです。

(単位：件)

| 年度 | 提出議案数 | 議決状況 | | |
|-----|-------|-----------|----------|----------|
| | | 原案可決 | 修正可決 | 否決 |
| H23 | 76 | 75 | 0 | 1 |
| H24 | 72 | 72 | 0 | 0 |
| H25 | 84 | 83 | 0 | 1 |
| H26 | 95 | 93 | 1 | 1 |
| 合計 | 327 | 323 (99%) | 1 (0.1%) | 3 (0.9%) |

④第5次福島町総合計画策定の進捗状況

行政側から総合計画の策定作業が遅れているため、議会提案時期を2ヵ月延期したい旨の説明があり、定例会9月会議で新しい議会体制のもと、総合計画の議案を審議することとなります。

⑤地方創生の概要と町の取組状況

将来の人口減少に歯止めをかけるため、国が目指している「長期ビジョン」と「総合戦略」を踏まえ、当町においても実情に応じた計画を平成27年度中に策定する必要があります。

「総合戦略」とは…

「長期ビジョン」を踏まえ、2015年度を初年度とする今後5か年の政策目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたもの。

⑥議員評価について

議員自身が自分の活動を振り返り自己評価し、次年度の活動に向けて新たな目標を設定し、議員活動の充実を図っています。

評価は、行政・財政・経済・福祉・教育・その他の6分野について、具体的に取組んだ事項を自己評価しています。

町内会連合会と

～議会評価や第5次総合計画策定の



検討した結果、このような形での開催となりました。懇談会では、町内会長20名の参加があり、議会で用意した資料をもとに、次の項目について議員から説明をし、その後、各町内会長の皆さんと意見交換をしました。懇談会で出された意見の主な内容は、次のとおりです。

資料で説明し

①議会評価について

平成17年度分からスタートして今回で10回目の議会評価となります。

1年間の議会活動の取組みと実績をまとめた資料に基づき、評価は議会運営委員会で協議のうえ、決定しています。

②常任委員会・特別委員会の活動概要

本会議とは違って自由に発言ができ、審査や調査が気軽に徹底して行えることから、議会の重要な機能として位置づけられています。

平成23年9月から平成27年3月までの調査件数と調査概要は次のとおりです。

(単位：件、日)

| 委員会名 | 調査件数 | 調査日数 | 調査概要 |
|-------------------------------|------|------|--------------------------------------|
| 総務教育常任委員会 | 17 | 17 | まちづくり行財政推進プランの取組状況と課題・問題点の調査ほか |
| 経済福祉常任委員会 | 22 | 23 | 企業振興条例案の調査ほか |
| 福島保育所認定こども園整備に関する調査特別委員会 | 1 | 2 | こども園の運営方針、施設整備内容等の調査 |
| 公共施設維持保全計画に関する調査特別委員会 | 1 | 3 | 施設の予防保全、統廃合、耐震化及び基金造成等の調査 |
| 総合計画の策定と運用に関する調査特別委員会 | 1 | 1 | 総合計画の策定と運用に関する条例案の調査 |
| 旧吉岡小学校周辺公共施設跡地利用計画に関する調査特別委員会 | 1 | 8 | 吉岡地区にふさわしい公共施設のあり方等の調査 |
| 第5次福島町総合計画策定に関する調査特別委員会 | 1 | 8 | 関連する個別計画、基本構想、基本計画、実施計画の調査 ※継続調査中 |
| 合計 | 44 | 62 | |

【常任委員会・特別委員会】

●両常任委員会ですらと応援基金の活用方法についての調査をしているが、その結果を教えてください。他町では活用状況をホームページなどに載せている事例もあります。

●常任委員会や特別委員会の調査は、実際に誰がやっているのか。

【その他】

●「道の駅」と「温泉」の改修計画は、どのようになっているのか。

●町と議会は、企業を誘致した後の情報交換・交流に欠けているように思います。誘致した企業へのフォローアップもきちんとしていきたい。

●住川地区と宿辺川橋の下に大量に投棄されたゴミがあるの、なんとか対策を考えていただきたい。

●以前は町政懇談会を開催していたと思うが、開催されなくなった代わりに議会がこのような町民との懇談会を開催しているのか。

●今日の懇談会の結果はどのように町長に伝えるのか。

●町内会館の解体、改修について、町内会の意見を聞いてから半年も経過しているが、町側から何も返答がないのは、何かないがしろにされている気がします。議会で、その後の状況が分かれば教えてください。

●職員数の合理化により影響



●職員数の合理化により影響

●職員数の合理化により影響

◆ 会議等出席状況 ◆

会議や議会へ通知があった行事等の2月から5月までの出席状況をお知らせします。
 「○」は出席、「×」は欠席、「-」は出席不要、「◎」は委員外議員として出席、「△」は別公務のため欠席、「職」は議長の職務出席を表しています。

| 年 月 日 | 会 議 ・ 行 事 名 | 平 | 加 | 佐 | 滝 | 花 | 木 | 藤 | 川 | 熊 | 平 | 溝 |
|-----------|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 沼 | 藤 | 藤 | 川 | 田 | 村 | 山 | 村 | 野 | 野 | 部 |
| H27. 2. 5 | 全国町村議会議長会 第66回定期総会 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ |
| 2. 9 | 渡島廃棄物処理広域連合 議会運営委員会 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ | - |
| 2. 10 | 議員研修会 (講師：三菱UFJリサーチ&コンサルティング 西尾 真治 氏) | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2. 13 | 第5次福島町総合計画策定に関する調査特別委員会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 職 |
| 2. 16 | 道南ドクターヘリ就航式 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ | - |
| 2. 16 | 渡島西部四町議会議員連絡協議会 総会及び研修会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2. 18 | 渡島廃棄物処理広域連合議会 全員協議会 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ | ○ |
| 2. 18 | 渡島廃棄物処理広域連合議会 第1回定例会 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ | ○ |
| 2. 19 | 経済福祉常任委員会 (今後の介護保険事業の運営等) | ○ | ○ | - | ◎ | ○ | ○ | ○ | - | - | ○ | 職 |
| 2. 19 | 福島町スポーツ・文化表彰式 | × | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | × | × | ○ |
| 2. 20 | 議会運営委員会 (定例会2月会議の運営ほか) | ○ | - | - | ○ | ○ | - | - | ○ | ○ | ◎ | 職 |
| 2. 20 | 定例会2月会議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2. 20 | 第5次福島町総合計画策定に関する調査特別委員会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 職 |
| 2. 22 | 福島町町内会連合会 総会 | - | - | ○ | - | - | - | - | - | - | - | ○ |
| 2. 26 | 福島町森林組合 通常総会 | - | - | - | - | ○ | - | - | - | - | - | ○ |
| 2. 26 | 渡島町村議会議長会 定期総会 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ |
| 2. 27 | 青森県三沢市議会会派行政視察 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ |
| 2. 27 | 渡島西部広域事務組合議会 第1回定例会 | - | - | ○ | - | - | ○ | - | - | - | - | ○ |
| 3. 1 | 福島商業高等学校 卒業証書授与式 | ○ | - | - | ○ | - | ○ | - | ○ | ○ | - | ○ |
| 3. 2 | 一般質問通告 | ○ | - | - | ○ | - | - | - | ○ | ○ | - | ○ |
| 3. 2 | 福島町農業協同組合 通常総会 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ |
| 3. 3 | 議会運営委員会 (定例会3月会議の運営ほか) | ○ | - | - | ○ | ○ | - | - | ○ | ○ | ◎ | 職 |
| 3. 4 | 第5次福島町総合計画策定に関する調査特別委員会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 職 |
| 3. 5 | 福島町椎茸生産組合 総会 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ |
| 3. 6 | 議員勉強会 (定例会3月会議議案ほか) | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 3. 9~17 | 定例会3月会議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 3. 13 | 福島中学校 卒業式 | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ |
| 3. 18 | 福島小学校 卒業式 | - | - | ○ | - | ○ | - | ○ | ○ | ○ | - | ○ |
| 3. 18 | 吉岡小学校 卒業式 | ○ | - | - | ○ | - | ○ | - | - | - | - | - |
| 3. 18 | 青森県田子町議会行政視察 | ○ | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ |
| 3. 20 | 福島幼稚園 保育証書授与式 | - | - | - | ○ | - | - | - | - | - | - | ○ |
| 3. 25 | 認定こども園福島保育所 卒園式 | ○ | - | - | - | - | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 3. 26 | 議会運営委員会 (定例会3月第2回会議の運営ほか) | × | - | - | ○ | ○ | - | - | ○ | ○ | ◎ | 職 |
| 3. 26 | 定例会3月第2回会議 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 3. 30 | 3/26開催 議会運営委員会の結果手交 (教育委員会部局へ) | ○ | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ | ○ |
| 3. 31 | 福島吉岡漁業協同組合 通常総会 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ |
| 4. 2 | 3/26開催 議会運営委員会の結果手交 (町部局へ) | ○ | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ | ○ |

| 年 月 日 | 会 議 ・ 行 事 名 | 平 沼 | 加 藤 | 佐 藤 | 滝 川 | 花 田 | 木 村 | 藤 山 | 川 村 | 熊 野 | 平 野 | 溝 部 |
|------------|---------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| H27. 4. 3 | 認定こども園福島保育所 入園式 | × | × | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ |
| 4. 6 | 吉岡小学校 入学式 | ○ | - | - | ○ | - | ○ | - | ○ | - | - | ○ |
| 4. 6 | 福島小学校 入学式 | - | - | ○ | - | ○ | - | - | ○ | ○ | ○ | - |
| 4. 6 | 福島中学校 入学式 | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 4. 7 | 議会運営委員会（定例会4月会議の運営ほか） | ○ | - | - | ○ | ○ | - | - | ○ | ○ | ◎ | 職 |
| 4. 7 | 定例会4月会議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 4. 8 | 福島商業高等学校 入学式 | ○ | - | - | ○ | - | ○ | - | ○ | - | - | ○ |
| 4. 9 | STVどさんこワイド179インタビュー | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ |
| 4. 10 | 福島幼稚園 入園式 | - | - | ○ | ○ | - | - | - | ○ | - | - | ○ |
| 4. 10 | 福島町商工会青年部 通常総会 | - | - | - | - | - | ○ | ○ | - | - | - | ○ |
| 4. 12 | 北海道福島会 総会 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ |
| 4. 14 | 福島町観光協会 通常総会 | - | - | ○ | - | - | ○ | - | ○ | - | - | ○ |
| 4. 15 | 鹿児島県日置市議会行政視察 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ | ○ |
| 4. 16 | 議会運営委員会（議会評価ほか） | ○ | - | - | ○ | ○ | - | - | ○ | ○ | ◎ | 職 |
| 4. 22 | 福島町コミュニティ運動推進協議会 総会 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ |
| 4. 23 | 議会運営委員会（定例会4月第2回会議の運営ほか） | ○ | - | - | ○ | ○ | - | - | ○ | ○ | ◎ | 職 |
| 4. 23 | 定例会4月第2回会議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 4. 23 | 4/16開催 議会運営委員会の結果手交 | ○ | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ | ○ |
| 4. 24 | 福島町相撲協会 総会 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ | ○ |
| 5. 1 | 第5次福島町総合計画策定に関する調査特別委員会 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 5. 1 | 老人クラブ連合会 総会 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ |
| 5. 7 | 町内会連合会と議員の懇談会 | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 5. 10 | 第24回女だけの相撲大会 | - | - | ○ | - | - | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ |
| 5. 11 | 春の交通安全大会・祈願祭 | - | - | - | - | - | - | - | ○ | - | - | ○ |
| 5. 12 | 渡島総合開発期成会 役員会 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ |
| 5. 15 | 第5次福島町総合計画策定に関する調査特別委員会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 5. 18 | 福島町議会基本条例諮問会議 | ○ | - | - | - | - | - | - | - | - | × | ○ |
| 5. 20 | 議会運営委員会（議会だよりの編集ほか） | ○ | - | - | ○ | ○ | - | - | ○ | ○ | ◎ | 職 |
| 5. 21 | 総務教育常任委員会（町内埋蔵文化財等の活用方法等） | - | - | ○ | - | - | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 5. 22 | 第5次福島町総合計画策定に関する調査特別委員会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 5. 25～27 | 全国議長・副議長研修会（東京都） | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ | ○ |
| 5. 28 | 2015年原水爆禁止国民平和大行進 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ |
| 5. 29 | 議会運営委員会（定例会5月会議の運営ほか） | ○ | - | - | ○ | ○ | - | - | ○ | ○ | ◎ | 職 |
| 5. 29 | 定例会5月会議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 5. 29 | 渡島西部四町議会議員連絡協議会 理事会 | ○ | - | - | - | - | - | - | ○ | - | ○ | ○ |
| 5. 31～6. 1 | 九重親方還暦を祝う会（東京都） | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ |

29 福島町議会だより

町民の声

76号より町民の皆さんから寄せられたご意見や感想を掲載しています。



榎 大久 吉田商店

外国人研修生受入れ

吉田 隆寿さん（36歳）

弊社では、4年前から中国人研修生を受入れ、現在18名働いております。理由は高齢化や社会の変化に伴い地元や近隣町で労働者の確保が難しくなってきたからです。私が地元に戻ってきた13年前には、研修生なんて考えてもいませんでした。毎年中国へ行き、数多くの中から本気で3年間日本で働きたい人物を面接しています。しかしきちんと選んだつもりが、基幹産業の跡継ぎの使命と考えています。

でも半年で帰国する人もいます。費用も掛かりますが、働き手が足りなければ会社として成り立ちません。またイカの不漁による原料の高騰も悩みの種です。しかし、珍味や加工品として日本一、スルメの町のスルメであればダメだという取引の声がある限り、社会変化に対応しながら会社を存続させていくことが基幹産業の跡継ぎの使命と考えています。

議会の主な予定

※予定ですので変更となる場合もあります。

6月

- 5日 第5次福島町総合計画策定に関する調査特別委員会 ～ 午前10時
- 15日 議会運営委員会 ～ 午後3時
(定例会6月会議の運営ほか)
- 16日 総務教育常任委員会 ～ 午前10時
(道立福島商業高等学校の存続対策)
- 19日 第5次福島町総合計画策定に関する調査特別委員会 ～ 午前10時
- 26日 定例会6月会議 ～ 午前10時
- 30日 議会運営委員会 ～ 午後1時30分
(定例会6月会議の反省事項ほか)

この言葉 どういう意味?

○議会諮問会議委員とは?

議会基本条例に基づき設置した議会の諮問機関の委員です。諮問会議は、議長の諮問に応じて調査審議及び議会に意見を申し出ることができ、委員はそのための議論をしています。

また、今年度の諮問事項は次のとおりです。

1. 調査審議を求める事項
 - (1) 議会評価（平成26年度）の検討
 - (2) 議会基本条例全体の検討
2. 確認を求める事項
 - (1) 議会基本条例の見直し検討による行動計画の確認

○議会白書とは?

議会・議員の活動内容を周知し、情報共有をすることにより議会活動の活性化を図るため、議会の基礎的な資料・情報、議会・議員の評価等を1年毎に調整し、議会白書として町民に公表しています。

北方領土返還要求シンボルマーク



〔平成26年度 標語〕
四島（しま）返還
ひとりの力が 大きな力に

議員の雑感



経済福祉常任委員 花田 勇

議員活動の四年間に思う

私が議員になって早いもので四年が経過します。この間、自分の考えていた事や思う事を発言してきただけですが、まだまだ勉強不足の感があります。そう思う中で「町民と議員との懇談会」は三位一体の協働行政につながるものと自画自賛しております。これからはもっと充実した懇談会となって行けるように努力したいものと思っています。

その為にも一人でも多くの町民の皆さんの出席を望んでおります。安心安全、住んで良かったと思える町づくりに向かって四千六百人の町民の皆さんとともに一人の議員として努力して行かなければと思う日々です。

編集後記



季節も春から夏へと移り代わり、海、そして田や畑が活気に溢れる時期が来ました。

議会においては、第5次福島町総合計画策定の調査結果を定例会6月会議で報告し、今後8年間の町づくりへの意見を示して行く予定です。

全国的にも地方の状況は厳しさを増していますが、福島町においても、行政・議会・町民が一体となった協働のまちづくりを常に意識し、戦略としての総合計画を着実に推進していかなければなりません。

今回は、3月会議を中心とした「議会だより105号」をお届けしました。議会運営委員会